取扱説明書 INSTRUCTION

Ver.004



RD-RA2204 [2TB HDD] *RD-RA2205* [4TB HDD]
RD-RA2208 [2TB HDD] *RD-RA2209* [4TB HDD]
RD-RA2216 [2TB HDD] *RD-RA2217* [4TB HDD] *RD-RA2218* [8TB HDD]

H.265圧縮方式デジタルレコーダー

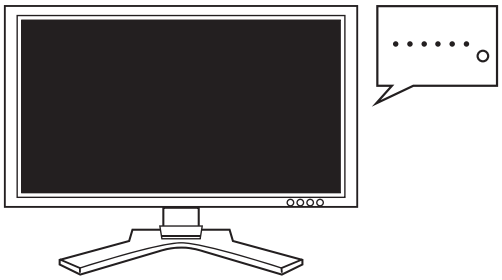
4ch 8ch 16ch H.265 音声入力 4 音声出力 2 遠隔監視 4M/5M対応 RoHS

ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
また、後々のために『保証書』とともに大切に保管してください。

ARUCOM
防犯カメラ・監視カメラ専門店 株式会社アルコム

よくあるご質問

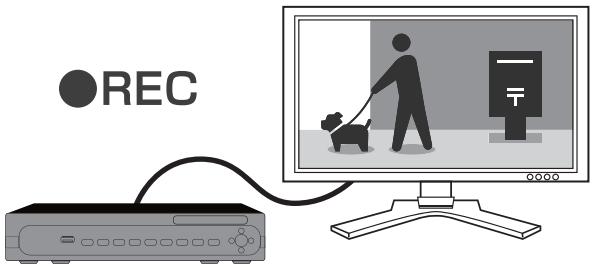
モニターに映像が映らない…



電源が入っているか、
正しく接続されて
いるか確認する。

➡ 12ページ

録画はできているのか…?



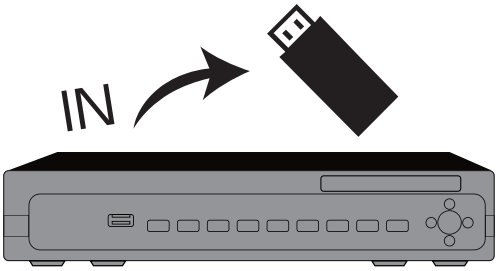
➡ 20ページ

録画の再生・設定方法は…?



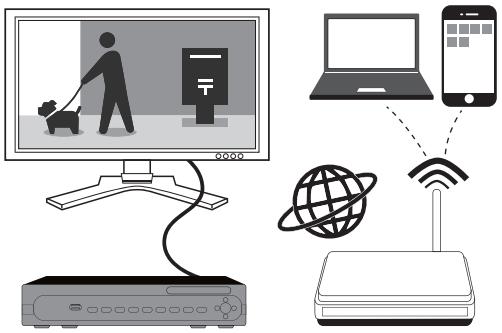
録画の設定 ➡ 20ページ
録画の再生 ➡ 30ページ

バックアップの方法は…?



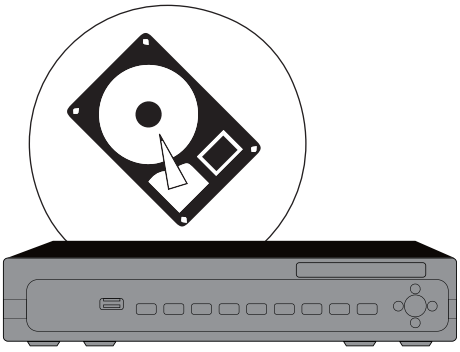
➡ 33ページ

ネットワークに接続してみるには?



➡ 38ページ

ハードディスクのフォーマット方法は?



➡ 50ページ

目次

はじめに

安全上のご注意 ---- 4
安全のため必ずお守りください ---- 4
正しくご使用いただくために必ずお守りください ---- 8
主な特徴 ---- 9
付属品 ---- 9
主要部品の交換時期 ---- 9
各部の名称とはたらき ---- 10
リモコンの各部の名称とはたらき ---- 13
マウスでの操作方法 ---- 13
ログインについて ---- 14
メニュー表示について ---- 15
アイコン表示について ---- 17
カメラ映像表示について ---- 18

設定手順

録画設定方法について ---- 20
常時録画 ---- 20
スケジュール録画 ---- 21
モーション録画 ---- 23
センサー録画 ---- 24
画質コマ数の設定 ---- 25
再生方法について ---- 29
録画映像をUSBメモリーにコピーする ---- 33
バックアップの再生 ---- 35
ネットワーク設定 ---- 36
ネットワークアクセス ---- 39

設定項目詳細

録画設定 ---- 40
イベント設定 ---- 43
カメラ設定 ---- 45
アカウント設定 ---- 46
ネットワーク設定 ---- 48
ストレージ設定 ---- 50
システム設定 ---- 51
システム情報 ---- 53

その他

仕様･外形寸法図 ---- 54
故障かな?と思ったら ---- 55
アフターサービスについて ---- 55

初期パスワード

パスワード　ac797083

⚠ 不正使用を防ぐため、変更することをお勧めします。
パスワードの変更はP.46ページを参照ください。

電源の入れ方

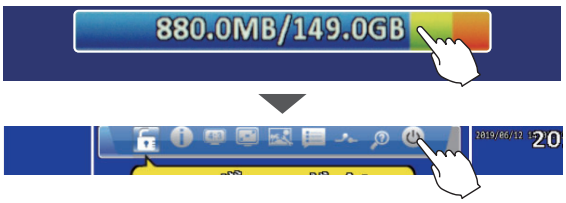
【4ch･8ch】本体に電源スイッチはありません。
電源コンセントに電源アダプタをさすと自動的に電源が入ります。

【16ch】電源コンセントに電源アダプタをさし、本体背面にある電源スイッチで電源を入れます。



電源スイッチ

電源の切り方



画面の上にあるHDD容量の表示にカーソルをあて、画面設定を表示し、一番右にある【電源マーク】をクリックし、【はい】を選択します。その後、下記に従い電源を切って下さい。

【4ch･8ch】本体に電源スイッチはありません。
電源を切る際は、電源アダプタを抜いてください。

【16ch】電源を切る際は、本体背面にある電源スイッチを切り、電源アダプタを抜いてください。



電源スイッチ

安全上のご注意

安全のため必ずお守りください

この安全上のご注意は、安全な使いかたを理解していただくため、記号(絵表示) を使って、わかりやすくまとめています。

■ 記号の表示について

この取扱説明書および製品への表示は、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。
内容をよく理解してから本文をお読みください。

⚠危険	この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う危険が差し迫って生じることが想定される内容を示しています。
⚠警告	この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
⚠注意	この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

■ 記号の例



△記号は注意(危険・警告を含む) を促す内容があることを告げるものです。

図の中に具体的な注意内容(左図の場合は注意) が描かれています。



⃠記号は禁止の行為であることを告げるものです。

図の中や近傍に具体的な禁止内容(左図の場合は分解禁止) が描かれています。



●記号は行為を強制したり指示する内容を告げるものです。

図の中に具体的な指示内容(左図の場合はACアダプターの電源プラグをコンセントから抜け) が描かれています。

⚠警告

■ 煙が出ている、変な音やにおいがするなどの異常状態のまま使用しない

異常状態のまま使用すると、火災、感電の原因となります。すぐに電源プラグをコンセントから抜いて、煙が出なくなるのを確認してから、お買い上げ販売店に修理をご依頼ください。
お客さまによる修理は危険ですから絶対におやめください。





■ 電源コードを傷つけない

- ●付属の電源コード以外は使用しないでください。
- ●電源コードの上に重い物をのせたり、熱器具に近づけたりしないでください。また、電源コードを無理に折り曲げたり、加工したり、ステープルなどで固定しないでください。
- ●電源コードが傷んだら、お買い上げ販売店に交換をご依頼ください。





■ 電源プラグやコンセントにほこりなどを付着させない

- ●ほこりにより、ショートや発熱が起こって火災の原因となります。
- ●湿度の高い部屋、結露しやすいところ、台所、ほこりがたまりやすい場所のコンセントを使っている場合は、特に注意してください。
- ●定期的に電源プラグを抜いて、プラグとプラグの間に付着したほこり・よごれを取り除いてください。



■ 電源コード接続時の注意

- ●電源プラグはコンセントへ確実に接続してください。不完全な接続のまま使用すると、発熱などにより、火災の原因となります。
- ●電源コードを束ねて使用しないでください。発熱などにより、火災の原因となります。
- ●コンセントつき延長コードをご使用の場合は、接続する機器の消費電力の合計が、延長コードの定格電力をこえないよう注意してください。火災の原因となります。



■ 電源コード接続時の注意

内部に手を触れると危険なうえ、火災、感電の原因となります。
内部の点検・調整・修理は、お買い上げ販売店または工事店にご依頼ください。



安全上のご注意

⚠警告

■ 内部に異物を入れない

●通風孔などから、金属類や燃えやすいものなど、異物を差し込んだり落とし込んだりしないでください。火災、感電の原因となります。

●万一異物が内部に入った場合は、本体の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いて、お買い上げ販売店または工事店にご連絡ください。そのまま使用すると、火災、感電の原因となります。





■ 接続する機器の上に、水などの入った容器を置かない

万一内部に水などが入った場合は、本体の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いて、お買い上げ販売店または工事店にご連絡ください。
そのまま使用すると、火災、感電、故障の原因となります。





■ ぬらさない

●本機は防水構造になっていませんので、ぬらさないようにご注意ください。火災、感電の原因となります。
風呂場、シャワー室では使用しないでください。

●万一内部に水などが入った場合は、本機の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いて、お買い上げ販売店または工事店にご連絡ください。そのまま使用すると、火災、感電、故障の原因となります。





■ 雷が鳴り出したら使わない

雷が鳴り出したら使用しないでください。特に接続ケーブルには絶対に触れないでください。感電の原因になります。



■ 不安定な場所に設置しない

●落ちたり倒れたりして、けがや故障の原因となります。

●万一落としたり、キャビネットを破損した場合は、電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いて、お買い上げの販売店または工事店にご連絡ください。
そのまま使用すると、火災、感電の原因となります。





■ 衝撃や振動を与えない

衝撃、振動が加わるとハードディスクが故障して、データが破損する恐れがあります。



⚠警告

■ 爆発の危険があるところでは使わない

可燃性ガスおよび爆発性ガスが、大気中に存在するおそれのある場所では、使用しないでください。引火、爆発の原因となります。



■ 電源電圧100V以外の電圧で使用しない

火災、感電の原因となります。



■ 国外では使用しない

使用できるのは日本国内のみで、外国では電源電圧が異なりますので使用できません。



⚠注意

■ 電源プラグを抜くときは、電源コードを引っぱらない

必ず電源プラグを持って抜いてください。電源コードを引っぱるとコードが傷ついて、火災、感電の原因となることがあります。



■ ぬれた手で電源プラグをさわらない

感電の原因となることがあります。



■ 上に乗らない

倒れたり、こわれたりして、けがの原因となることがあります。



■ コード類は正しく配線する

電源コードや接続ケーブルはじゅうぶん注意して接続、配線してください。足などにケーブルを引っかけると機器の落下や転倒などに



■ 接続する機器の上に重いものを置かない

バランスがくずれて倒れたり、落下して、けがの原因となることがあります。また、重みによって故障の原因となることがあります。



■ 搬送・持ち運びについて

●通電中は本機の移動は絶対に行なわないでください。

●搬送する場合は、電源プラグをコンセントから抜き、接続ケーブルを外したことを確認して、ご購入時の梱包材料で梱包してください。また、搬送時はできるだけ衝撃や振動の少ない方法で行なってください。また、落下しないようにご注意ください。



安全上のご注意

⚠注意

■ お手入れの際、長期間使用しない場合

電源プラグをコンセントから抜いてください。接続したままお手入れすると、感電の原因となることがあります。



■ 内部の掃除について

内部の掃除については、お買い上げ販売店または工事店にご相談ください。機器の内部にほこりがたまったまま長い間掃除をしないと、火災、故障の原因となることがあります。



■ 通風孔や放熱ファンをふさがない



●本機はハードディスクなどによる放熱を換気するために通風孔や放熱ファンを設置しています。
本機にカバーを掛けたり、ケースや本棚などで覆うと内部に熱がこもり、火災や感電の原因となることがあります。
本機をラックに設置する場合は、本機と壁面間などに隙間を開けてください。
●上下間は1cm以上の隙間を開ける
●左右は5cm以上を開ける
●ラック後面と壁面間は10cm以上開ける

■ 急激な温度・湿度変化の場所に置かない

●急激な温度（毎時10℃以上）変化および湿度変化の激しい場所には置かないでください。



■ 設置場所の注意

本機は精密な電子部品で構成しています。次の様な場所での設置は、動作不良や故障の原因となりますので、絶対に避けてください。



●直射日光が当たる場所
●水にぬれやすい場所
●冷暖房器具や加湿器に近い場所
●エアコンなどの冷風が直接当たる場所
●ほこりやちりの多い場所
●火気のある場所
●磁気を持っているものに近い場所
●揮発性物質のある場所
●常に振動のある場所や車や列車など

付属のACアダプターについて

⚠危険

■ 分解したり、改造しない

●内部に手を触れると危険なうえ、火災、感電の原因となります。
●直流電源器として使用しないでください。



■ 電源電圧100V以外の電圧で使用しない

火災、感電の原因となります。



■ ぬらさない

●水につけたり、ぬらしたりしないでください。火災、感電の原因となります。
●風呂場、シャワー室等では使用しないでください。
●万一内部に水などが入った場合は、コンセントから抜いて、お買い上げ販売店にご連絡ください。そのまま使用すると、火災、感電、故障の原因となります。





⚠警告

■ 付属のACアダプター以外は使用しない

付属のACアダプターをご使用ください。他のACアダプターを使用するとコードの電流容量などの違いにより火災、感電の原因となります。



■ 他の機器に接続しない

感電の原因となることがあります。



■ 本機を幼児やお子様の手の届く範囲、またはペットの行動範囲内に接続しない

誤ってACアダプターのコードを首に巻きつけ、窒息を起こす原因となります。



■ 国外では使用しない

使用できるのは日本国内のみで、外国では電源電圧が異なりますので使用できません。



■ ぬれた手でACアダプターをさわらない

感電の原因となります。



安全上のご注意

付属のACアダプターについて

⚠警告

■ 煙が出ている、変な音やにおいがするときは、すぐにACアダプターをコンセントから抜く

●異常状態のまま使用すると、火災、感電の原因となります。
●異常状態になった場合は、すぐにACアダプターをコンセントから抜いて、煙が出なくなるのを確認してから、お買い上げ販売店にご連絡ください。お客さまによる修理は危険ですから、絶対におやめください。



■ 雷が鳴り出したら使わない

雷が鳴り出したら、ACアダプターには絶対に触れないでください。感電の原因となります。



■ ACアダプターとコンセントの注意

●コンセントにゆるみやガタ付がある場合は接続しない
●ACアダプターはコンセントへ根元まで確実に接続する
●ACアダプターの差込み部が傷んでいる場合は使用しない
不完全な接続のまま使用すると、発熱などにより、火災や感電の原因になります。
●ACアダプターをコンセントから抜くときは、無理に引っ張らない
差込み部やコードが傷み、火災や感電の原因になります。
●ACアダプターをコンセントに差し込んだまま、本機のDC入力端子からDCプラグを抜いた状態にしない
ぬれた手で触ったり、口に入れたりすると感電の原因になります。
●ACアダプターとコンセントの接触部に、ほこりなどを付着させない
ほこりなどにより、ショートや発熱が起こり火災の原因になります。
特に、湿度の高い部屋や結露しやすいところ、台所やほこりの溜まりやすい場所でのコンセントは注意してください。
ほこりの清掃
ACアダプターをコンセントから抜いて、金属部に付着したほこり、汚れを乾いた布で取り除いてください。
●コンセント付き延長コードを使用する場合は、接続する機器の消費電力の合計が延長コードの定格電力を超えないこと
定格電力を超えると火災の原因になります。







⚠注意

■ コード類は正しく接続する

ACアダプターのコードや接続ケーブルはじゅうぶん注意して配線してください。
足などにコード類を引っかけると機器の落下や転倒などにより、けがの原因となることがあります。



■ コードを傷つけない

ACアダプターのコードの上に重い物をのせたり、熱器具に近づけたりしないでください。
また、コードを折り曲げたり、加工したり、ステープルなどで固定しないでください。



■ 不安定な場所に置かない

●落ちたり、倒れたりして、けがや故障の原因となります。
●万一落としたり、キャビネットを破損した場合は、お買い上げ販売店にご連絡ください。そのまま使用すると、火災、感電、故障の原因となります。



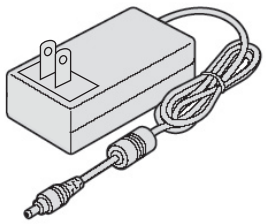
■ 使用場所の注意

発熱体（ストーブの前面）や直射日光が当たるところで、使用しないでください。



⚠警告

付属の電源アダプターは本機専用です。他の機器には使用しないでください。



安全上のご注意

正しくご使用いただくために必ずお守りください

■ 本機のお手入れ

電源プラグをコンセントから抜いて柔らかい布で汚れを軽くふき取る

汚れがひどいときは、水で薄めた中性洗剤に布をひたし、よく絞ってからふき取ってください。そして、仕上げは乾いた布でふいてください。

ご注意

- ●お手入れの際、ベンジン･シンナーは使用しないでください。変質したり、塗料がはげることがあります。
- ●化学ぞうきんをご使用の際は、その注意書きに従ってください。
- ●本体に殺虫剤など揮発性のものをかけないでください。また、ゴムやビニール製品などを長時間接触させたままにしないでください。
  変質したり、塗料がはげるなどの原因になります。

■ 録画内容は事前に確認してください

本機もしくは接続機器などの不具合などより、録画や再生ができない場合がありますので、必ず事前に録画を行ない、正常に再生されることを確認してください。録画内容などについての保証はできません。
万一の故障や事故による映像の破損を防ぐためにも、定期的にバックアップをお勧めします。

■ 長時間使用しないとき

電源プラグをコンセントから抜いてください。ただし機能に支障をきたす場合がありますので、ときどき電源を入れて作動させてください。

■ 個人情報の保護について

カメラシステムを使用して撮影する人物･その他の映像で個人を特定できるものは個人情報となります。個人情報の取扱いはシステムを運用する方の責務となりますのでご注意ください。

⚠警告

ハードディスクは精密機器ですので、衝撃を与えないよう丁寧な取り扱いをお願いします。
放熱穴をふさいだりしないようにしてください。
機器内部の温度が上昇しますと、ハードディスクの寿命が短くなります。

■ 通電中は絶対に衝撃や振動を与えたり、移動させない

ラックなどの出し入れ時も必ず電源は切ってください。

■ 録画中、再生中にコンセントを抜くときは必ず“停止”してから抜いてください。

■ 電源を切ってから約30秒間は動かさない

電源を切っても、しばらくの間はハードディスクは回転しています。この間は通電中よりもさらに衝撃や振動に弱い状態ですので、絶対に動かさないようにしてください。

■ 衝撃や振動を与えない

本機を床などには置かないでください。

■ 搬送時は必ず購入時の梱包材を使用すること

本機ならびに単品のハードディスクなどを搬送する場合は、ご購入の際の梱包材料で梱包してください。また、搬送時はできるだけ振動の少ない方法で行なってください。

ハードディスクの交換については、お買い上げの販売店にご相談ください。

- ●梱包していないハードディスクは、基板面を上にして柔らかい物の上に水平に置いてください。ハードディスクに衝撃や振動が加わると故障することがあります。
- ●ハードディスクの交換時には、ネジの締め付けや取り外しによる衝撃や振動を与えないでようにしてください。

主な特徴

●H.265圧縮方式による長時間記録
●分割画面でも動画でモニター可能
●音声記録対応
●USBメモリへのデータバックアップ
●本機をネットワーク経由でパソコンやスマートフォンから遠隔監視可能
●HDMI、VGA映像出力
●リモコン・マウス付属

主要部品の交換時期

本機を周囲温度25℃の環境下で連続してご使用した場合は、使用環境により部品が摩耗したり劣化します。
本機の性能を維持させるために、下記部品の年数を目安に交換をお勧めします。交換年数は目安であり、部品の性能を保証するものではありません。

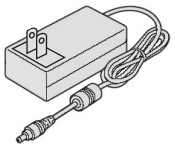
■ ハードディスク
使用環境により寿命は異なりますが、ヘッドやモーターが磨耗劣化する部品です。通電時間が2年を超えることより、書き込みエラーなどが発生しやすくなります。

■ 電池(バックアップリチウムバッテリー)
2年(周囲温度25℃)

付属品

次の部品が入っているかをご確認ください。

①電源アダプター
②マウス
③リモコン(ボタン電池付属)
④BNC変換プラグ
⑤取扱説明書(本書)
⑥保証書

①  ※形状は異なります	②  ※形状は異なります
③ 	④  4CHには5個、8CHには9個、16CHには17個付属しています
⑤ 	⑥ 

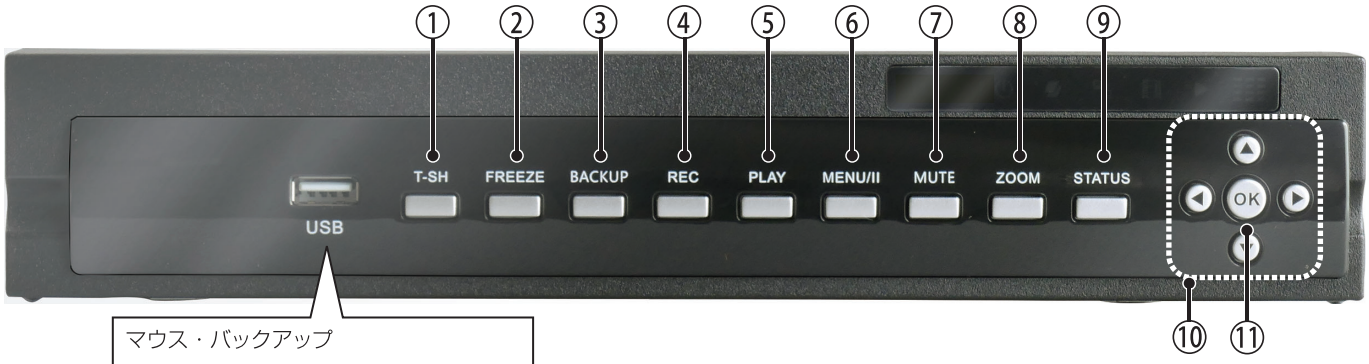
※付属品の形状は予告なく変更になる場合がございます。

各部の名称とはたらき

4ch/8chには電源スイッチはありません。

前面パネル

■ RD-RA2204/RD-RA2208シリーズ





①	T-SH	時間検索メニューが開きます	⑦	MUTE	ライブ時の音声ON/OFF、出力するチャンネルを選択します
②	FREEZE	監視映像画面を停止させます	⑧	ZOOM	監視映像画面を拡大します
③	BACKUP	バックアップ画面が開きます/メニュー画面から再生画面に戻ります	⑨	STATUS	システム情報画面を開きます
④	REC	録画設定画面を開きます	⑩	上下左右ボタン	設定中のカーソル移動の操作をします
⑤	PLAY	5分前の録画の再生をします	⑪	OKボタン	設定画面時は選択項目を確定するボタン/監視映像時は画面切り替えボタン
⑥	MENU/II	メニュー画面を表示します			

■ RD-RA2216シリーズ





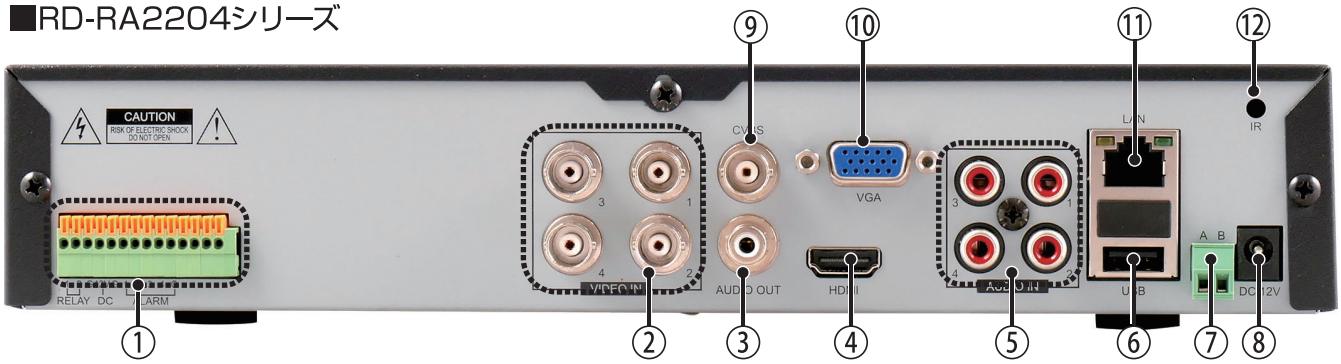
①	BACKUP/ESC	バックアップ画面が開きます/メニュー画面から再生画面に戻ります	⑦	ENTERボタン	設定画面時は選択項目を確定するボタン/監視映像時は画面切り替えボタン
②	PIP	PIP画面を表示します	⑧	MENU/II	メニュー画面を表示します
③	ZOOM	監視映像画面を拡大します	⑨	Mute	ライブ時の音声ON/OFF、出力するチャンネルを選択します
④	Freeze	監視映像画面を停止させます	⑩	STATUS	システム情報画面を開きます
⑤	T-SH	時間検索メニューが開きます	⑪	REC	録画設定画面を開きます
⑥	上下左右ボタン	設定中のカーソル移動の操作をします	⑫	PLAY	5分前の録画の再生をします

各部の名称とはたらき

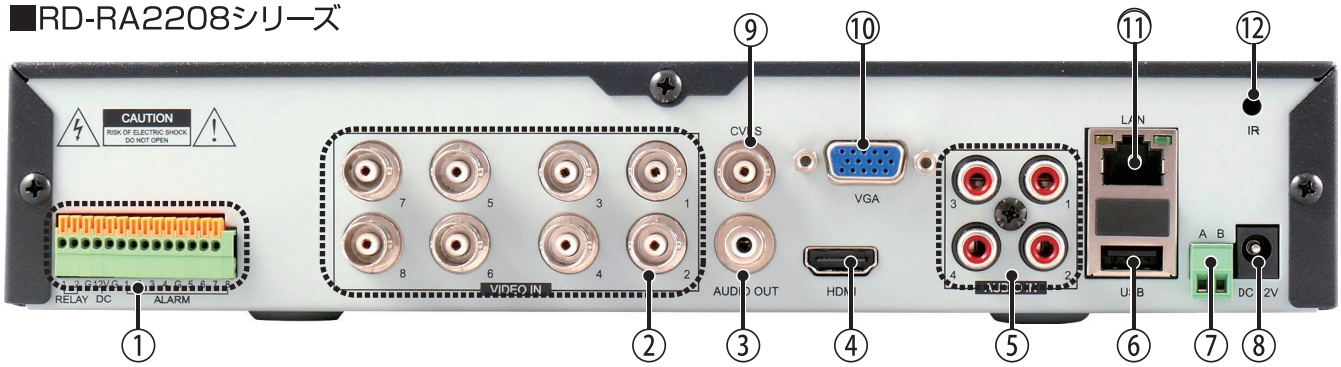
4ch/8chには電源スイッチはありません。

背面パネル

■RD-RA2204シリーズ

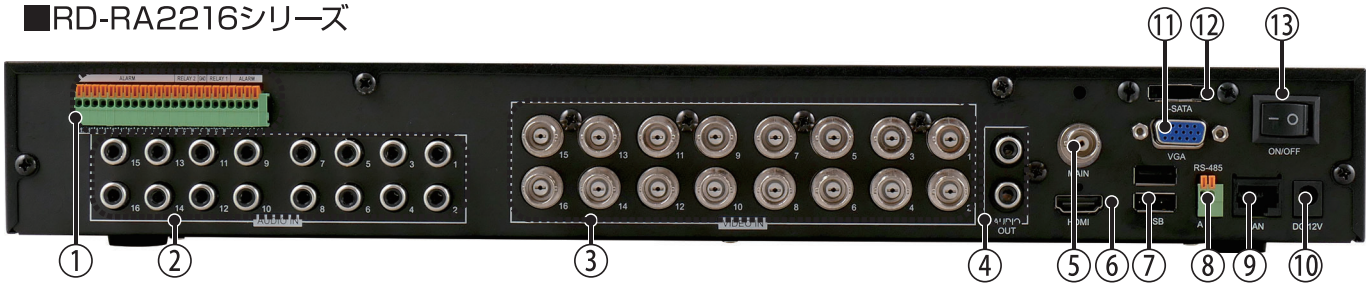


■RD-RA2208シリーズ



①	センサーイン･アラームアウト	③	音声出力端子(RCA)	⑧	DC12V入力端子(DC12V)
	GND…センサー機器のマイナスを接続します	④	HDMI出力端子(HDMI)	⑨	アナログ映像出力端子(BNC)
	RELAY…センサー機器のプラスを接続します	⑤	音声入力端子(RCA)	⑩	VGA出力端子(VGA)
	ALARM…アラームを出力する機器を接続します	⑥	USB接続端子	⑪	ネットワーク接続端子(LAN)
②	映像入力端子(BNC)	⑦	RS-485…RS-485端子を接続します	⑫	IR

■RD-RA2216シリーズ

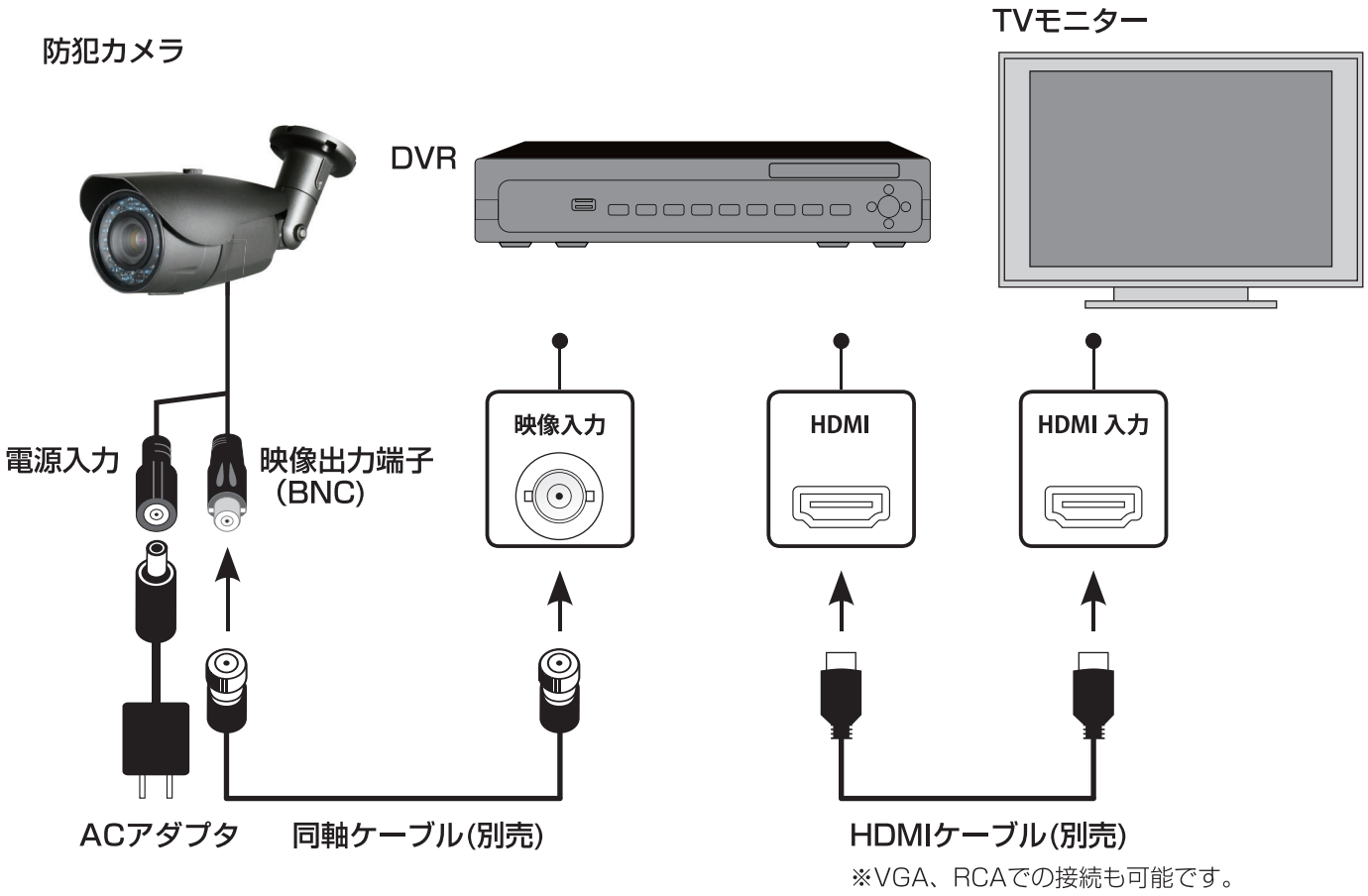


①	センサーイン･アラームアウト	④	音声出力端子(RCA)	⑩	DC12V入力端子(DC12V)
	GND…センサー機器のマイナスを接続します	⑤	アナログ映像出力端子(BNC)	⑪	VGA出力端子(VGA)
	RELAY…センサー機器のプラスを接続します	⑥	HDMI出力端子(HDMI)	⑫	eSATA接続端子
	ALARM…アラームを出力する機器を接続します	⑦	USB接続端子	⑬	電源スイッチ
②	音声入力端子(RCA)	⑧	RS-485…RS-485端子を接続します		
③	映像入力端子(BNC)	⑨	ネットワーク接続端子(LAN)		

●すべての接続が完了するまで電源は入れないでください。
●接続を誤ると発煙したり、故障の原因になることがありますので注意してください。
●AC アダプターの DC プラグは抜けやすい構造となっております。本機を移動する場合は、プラグの抜けに注意してください。

防犯カメラ・監視モニターとの接続方法

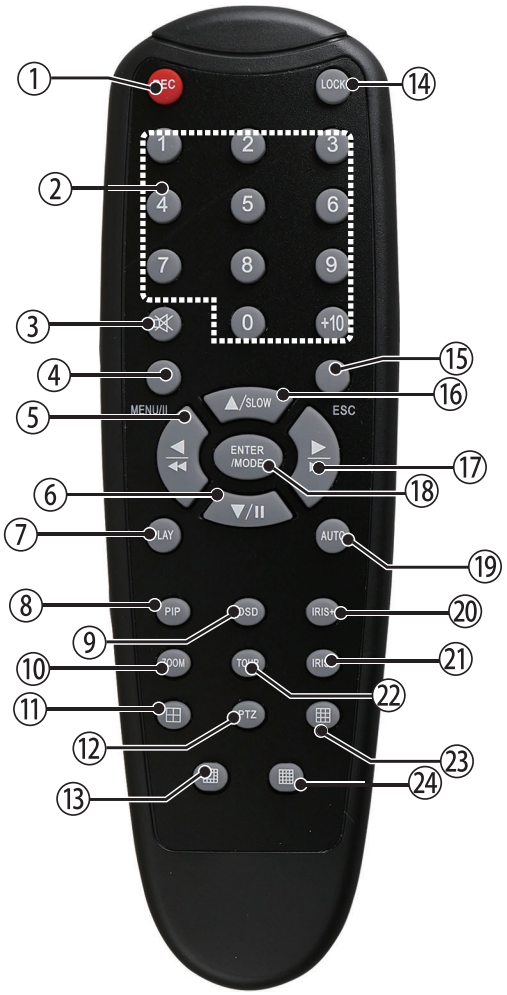
下記の図を参考に防犯カメラ・監視モニターと本機を接続して使用します。



●カメラの接続、入れ替えなど行った場合は必ずレコーダーの電源を入れ直してください。

リモコンの各部の名称とはたらき

付属のリモコンに付属の電池を入れて使用します。



リモコンの名称とはたらき

①	REC	録画設定画面が開きます。
②	数字ボタン	監視あるいは再生モードで数字ボタンを押すと、選択された数字のカメラが全画面表示になります。パスワード入力時の数字ボタンとしても使用します。
③		ライブ時の音声ON/OFF、出力するチャンネルを選択します。
④	MENU/II	設定メニューを表示します。設定中は1つ上の階層に戻ります。
⑤		設定中のカーソル移動時に使用/再生中は逆方向再生になります。
⑥	▼/II	設定中のカーソル移動時に使用/再生中は再生を終了します。
⑦	PLAY	5分前の録画の再生をします。
⑧	PIP	PIP画面表示にします。
⑨	OSD	OSDを表示します。
⑩	ZOOM	監視映像画面を拡大します。
⑪		監視・再生画面を4分割表示にします。
⑫	PTZ	PTZカメラの操作メニューを開きます。
⑬		監視・再生画面を13分割表示にします。※4ch、8ch不可
⑭	LOCK	ログイン画面を表示します。ユーザーが選択できます。
⑮	ESC	設定中、1つ上の階層に戻ります。
⑯	▲/SLOW	設定中のカーソル移動時に使用/再生中はスロー再生になります。
⑰		設定中のカーソル移動時に使用/再生中は早送りになります。
⑱	ENTER/MODE	選択項目を確定します。/監視画面を1画面ずつ切り替え表示します。
⑲	AUTO	オートシーケンス設定画面を表示します。
⑳	IRIS+	カメラのアイリス調整をします。
㉑	IRIS−	カメラのアイリス調整をします。
㉒	TOUR	PTZ操作時のTOURを行います。
㉓		監視・再生画面を9分割表示にします。※4ch不可
㉔		監視・再生画面を16分割表示にします。※4ch、8ch不可

マウスでの操作方法

付属のマウスを録画機背面にある USB コネクタに接続して使用します。



左クリック

メニューで設定項目を選択します。【ENTER･OK】ボタンと同じ役割をします。
監視時に、ダブルクリックをすると、全画面･分割画面の切り替えができます。

右クリック

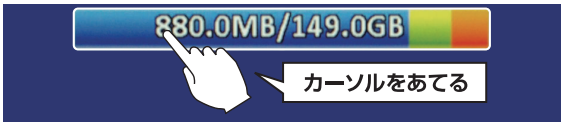
通常画面でクリックすると、簡易メニュー画面を表示します。
設定画面では、1つ上の階層に戻ります。【ESC】と同じ役割をします。

ログインについて

本機の操作には、ログインが必要です。
ログインしていない状態では、マルチ画面の変更以外何も行うことができません。（初期設定時）

1 ログイン画面を表示します

画面の上にある HDD の容量の表示にカーソルをあて、画面設定を表示させます。一番左にある【鍵マーク】をクリックしログイン画面を表示します。リモコン操作の場合は、[LOCK] ボタンで [ログイン画面] を表示します。





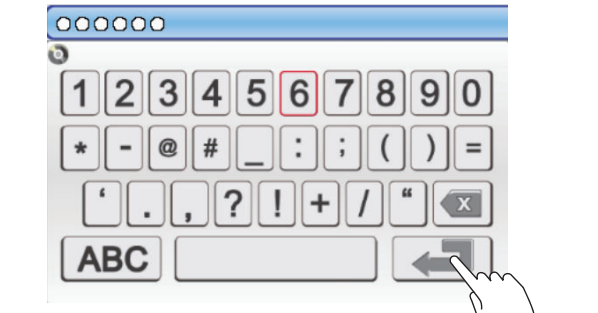

ログイン状態


ログアウト状態



2 入力キーボードの表示

マウス操作の場合：パスワード入力欄を左クリックし、入力キーボードを表示します。
リモコンの場合：リモコンの [ENTER/MODE] ボタンを押し入力キーボードを表示します。
本体操作の場合：[OK] ボタンを押し、表示します。





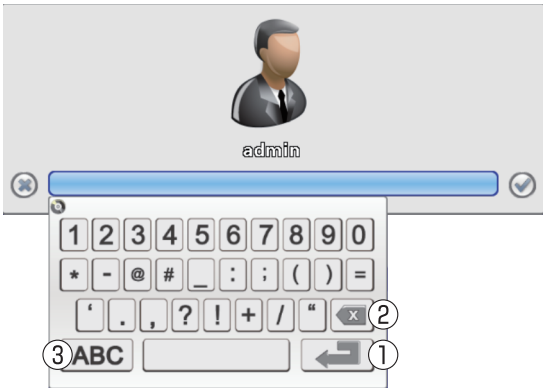
本体



リモコン
[ENTER/MODE] ボタンを押す

3 パスワードを入力します

初期パスワード【ac797083】を入力します。
本体またはリモコンの「上下左右」ボタンで文字を選択し、本体の [OK] ボタン、または [矢印マーク] を押します。マウス操作の場合は、直接文字を左クリックし、最後に【矢印ボタン】を左クリックします。

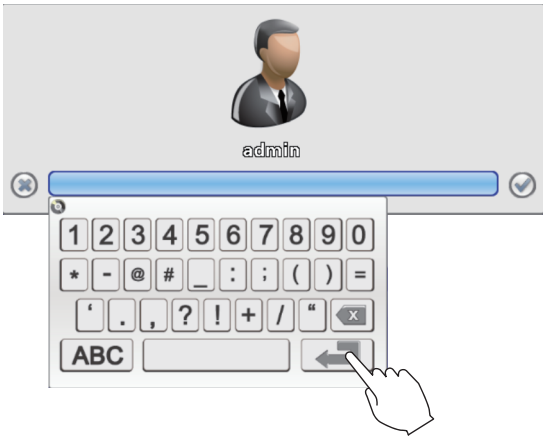


①矢印
入力した文字を確定します。
②× 印
入力した文字を消します。
③ABC
入力をアルファベットに変更します。

初期パスワード：ac797083

4 ログイン完了

[矢印マーク] もしくは本体の [OK] ボタンを押すと、ログインが完了し、詳細な操作が可能になります。



メニュー表示について

簡易メニュー ライブ映像表示時にマウスを右クリックすると簡易メニューが表示されます。



アイコン	名称	説明
	オート シーケンス	表示中のカメラからチャンネル番号順に、自動的にカメラ表示が切り替わります。
	バックアップ	録画映像を記憶メディア(USBメモリー) にコピーします。
	設定	録画、再生、ネットワークに関わる設定を行います。
	日付検索	カレンダーから日時を指定して再生します。
	システム ログ	機器を操作したユーザー、操作種類、日付などが確認できます。
	再生	映像を再生します。
	PTZ	PTZカメラのコントロール画面表示をします。(使用しません。)
	スマート サーチ	動体検知で録画されたエリアを指定してデータを検索・再生します。
	ズーム	拡大表示をします。
	映像停止	ライブ映像を一時停止します。
	PIP	画面の中に子画面を重ねて表示します。(8ch、16chのみ)
	全画面	全画面に表示をします。
	分割画面	カメラ映像を分割に表示します。

メニュー表示について

メインメニュー　簡易メニュー表示後、設定を左クリックすると表示できます。



アイコン	名称	説明
	録画設定	常時録画やスケジュール録画の設定を行います。
	イベント設定	モーション検知、ビデオロスの設定を行います。
	カメラ設定	カメラの名称やマスクの設定を行います。
	アカウント設定	アカウントごとの権限の設定を行います。
	ネットワーク設定	ネットワーク監視に関わる設定を行います。
	ストレージ設定	HDD、USBの状態を確認することができます。
	システム設定	日付 / 時間設定、モニター設定、入力設定、ユーティリティの設定を行います。
	システム情報	DVR、ネットワーク、HDDの情報を確認することができます。

アイコン表示について

アイコン	説明
	録画中に表示
	音声の有効
	音声の無効
	映像信号有効
	イベントの録画中
	動体検知
	アラーム発生
	アラーム未発生
	チャンネルのビデオロス発生
	USBデバイスの検出
	DVDデバイスの検出
	ネットワーク接続中
	ネットワーク未接続
	現在のユーザー表示
	現在のHDD使用容量 /現在のHDD温度
	各チャンネル /ローカル再生 /リモートライブ /リモート再生 / バックアップデータの時計表示

カメラ映像表示について

全画面表示

本体操作の場合

本体 [OK] ボタンを押すと全画面表示ができ、押す度にCH1→2→3→4→四分割画面と切り替わります。

マウス操作の場合

全画面表示したいカメラ映像にマウスをあて、ダブルクリックします。もう一度ダブルクリックすると分割画面に戻ります。

リモコン操作の場合

全画面表示したいチャンネルの数字を押します。戻す際はリモコンの [田分割画面] ボタンを選択します。または [OK] ボタンで CH1→2→3→4→四分割画面の操作が可能です。





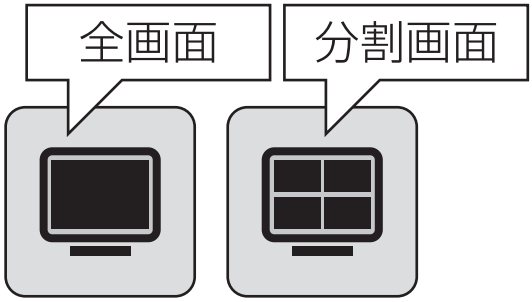
分割画面表示

本体操作の場合

[OK] ボタンを数回押すと分割画面になります。

マウス操作の場合

ライブ映像の画面でダブルクリックします。
※本体操作、簡易メニューの操作で全画面表示にした場合、簡易メニューから分割画面へ切り替えてください。



リモコン操作の場合

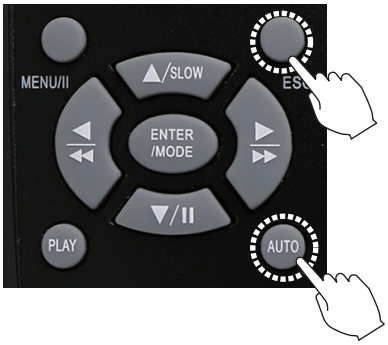
リモコンの [全画面] ボタンを押します。

カメラ自動切り替え（シーケンス）

マウスを右クリックし、［簡易メニュー］を開きます。
上の段の一番左の［オートシーケンス］を左クリックします。

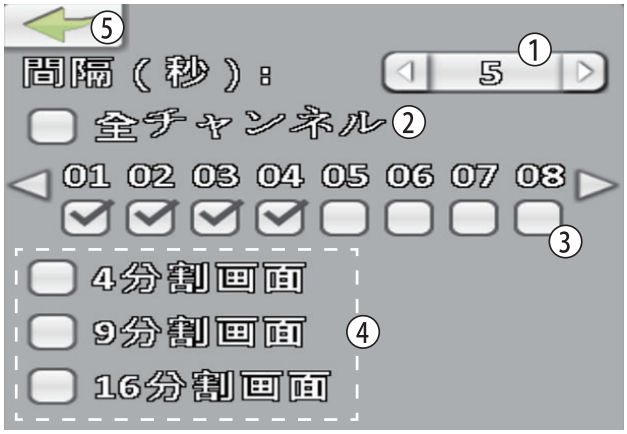


◆リモコンでの操作
[AUTO] ボタンを押します。シーケンスを終了するには、[ESC] ボタンを押します。



カメラ映像表示について

必要な項目にチェックマークを入れ、秒数を選択します。

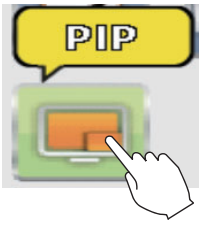


※マウスでの操作を推奨致します。
①画面を切り替える秒数の選択します。
②CH01 ～ 16 全チャンネルを選択します。
③自動切り替えをするカメラを選択します。
④自動切り替えに分割画面も組み込みます。
⑤[矢印マーク] をクリックすると、自動切り替えを終了します。
※この操作は、自動切り替え自体を終了します※
設定後、自動切り替えを始める場合は、
操作を止め数秒たつと自動で始まります。

左クリックで設定画面を表示し、[⑤矢印マーク] をクリックすると、自動切り替えを終了します。
本体・リモコンの場合は、[ESC] ボタンで終了します。
※本機能使用中は他の操作ができなくなります。

PIP（Picture In Picture）

簡易メニューを開き、PIP を選択します。



カメラを選択

チャンネル番号をクリックすると選択チャンネルが表示されますので表示したいカメラをクリックし選択します。

全画面表示

小さい画面をクリックします。
もう一度クリックすると元の PIP 画面に戻ります。

小さい画面を移動

左クリックを押しながら小さい画面を移動させます。

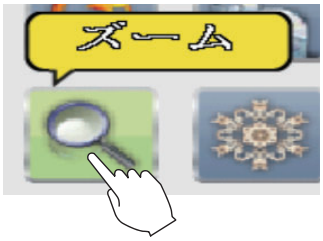
終了するには

簡易メニューの分割・もしくは全画面のどちらかを選択し終了します。

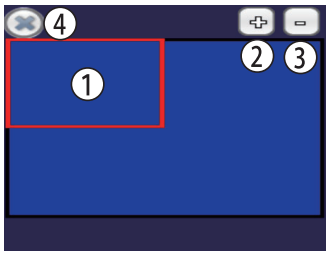


デジタルズーム

※ズームしたいカメラ映像を全画面表示にしてから操作してください。



◆マウス操作
右クリックで簡易メニューを表示し、ズームメニューを選択します。



①赤の四角の枠を動かすことで、表示位置を上下左右に移動します。
②＋映像をズームします。
③－ズームアウトします。
④× ズームを終了します。

録画設定方法について

常時録画設定

設定方法

1 ライブ映像時に、本体又はリモコンの【MENU】ボタンを押します

マウス操作の場合は、右クリックで簡易メニューを表示し、【設定】をクリックします。



メニューが表示されるので【録画設定】をクリックします。



初期パスワード

ユーザー：admin　パスワード：ac797083

2 録画モードを【常時録画】に設定し、【常時録画】タブを選択します

録画の【チェックボックス】に印をつけます。
【確認】ボタンを押します。



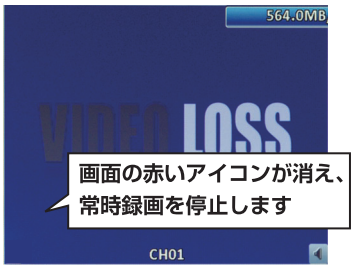


常時録画の終了方法

本体又はリモコンの【MENU】ボタンを押します。
マウス操作の場合は、上記手順と同様に操作し、【録画設定】を開きます。

録画のチェックボックスの印を解除し、【確認】ボタンを押します。





※画質・コマ数の設定方法はP25 をご覧ください。

録画設定方法について

スケジュール録画設定

※マウスでの操作になります。

設定方法

1 ライブ映像時に、本体又はリモコンの【MENU】ボタンを押します

マウス操作の場合は、右クリックで簡易メニューを表示し、【設定】をクリックします。



メニューが表示されるので、【録画設定】をクリックします。

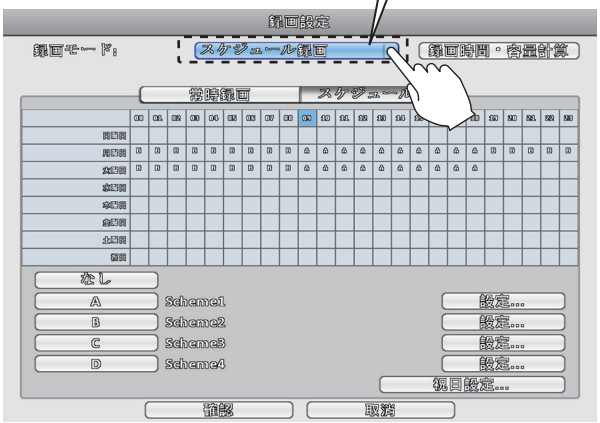


初期パスワード

ユーザー：admin　パスワード：ac797083

2 録画モードを【スケジュール録画】に設定し、下にある項目も【スケジュール録画】を選択します

◆注意◆
この部分を【スケジュール録画】に変更することを忘れないようにしてください。



3 録画したい曜日、時間帯をドラックで選択します

※時間帯は 1 時間ごとの設定になります。
左下の A ボタンを押します。
(B ～ D にスケジュールを設定する場合は、そのアルファベットを押します。)



選択項目に「A」のマークが表示されます。
A のマークが表示されている時間を録画します。

4 設定を行います

A の初期設定内容は最高画質の常時録画になっています。
内容を変更する場合は【設定】をクリックし設定を行ってください。

例)
選択した時間帯でモーション録画を行いたい場合
→モーション録画設定（P.23 参照）
選択した時間帯の画質を変更したい場合
→録画設定（P.26 参照）



次ページに続きます。

録画設定方法について

設定した曜日、時間帯を解除する場合

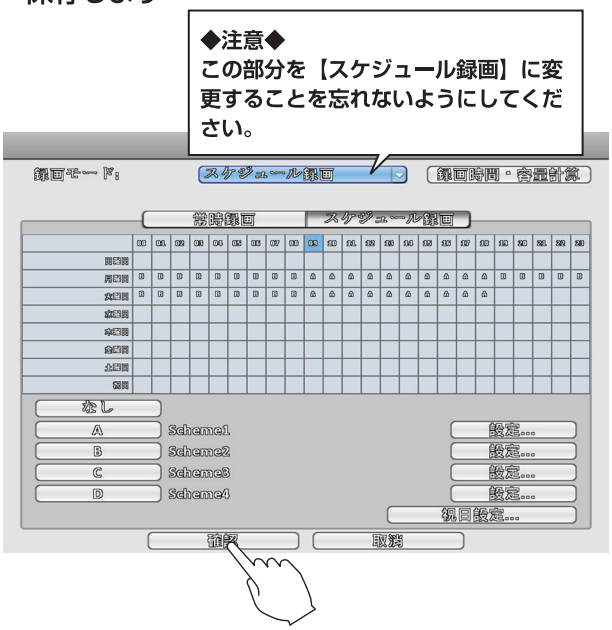
1 設定を解除したい曜日と時間帯を選択します。

2 画面左の【なし】という項目を選択します。



選択した時間帯の「A」マークが解除されます。

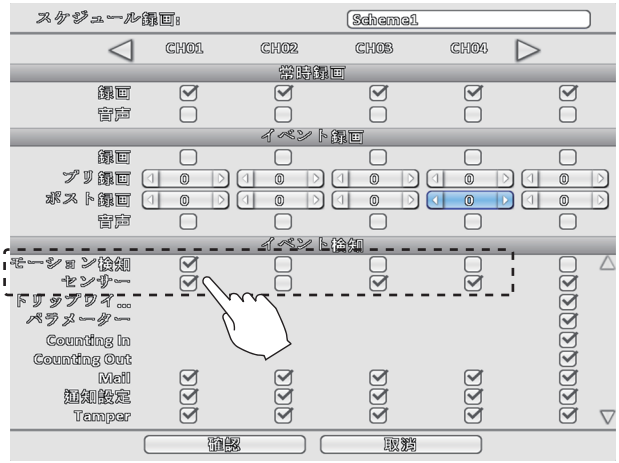
3 画面下部の【確認】ボタンを選択して、設定を保存します



イベント設定

イベント録画を設定する際に、イベント種類の設定も行います

【モーション検知】と【センサー検知】必要な項目にチェックを入れます。



モーション録画・センサー録画の詳細設定は、イベント設定にて行います。
モーション録画（P.23）センサー録画（P.24）を参照ください。

録画設定方法について

モーション録画設定　画面に動きがあった際、録画を開始する設定です。

設定方法

1 ライブ映像時に、本体又はリモコンの【MENU】ボタンを押します

マウス操作の場合は、右クリックで簡易メニューを表示し、【設定】をクリックします。



メニューが表示されるので、【録画設定】をクリックします。



初期パスワード

ユーザー：admin　パスワード：ac797083

2 録画モードを【常時録画】に設定し、【常時録画】を選択します

画面上段の【常時録画】項目の【録画】欄のチェックが付いていれば外します。
画面下段の【イベント録画】項目の【録画】チェックボックスに印を付けます。
画面下部の【確認】を押します。



必要であれば【解像度】【FPS（録画コマ数）】【画質】【プリ録画】【ポスト録画】【音声】の設定を行います。
【プリ録画】…イベント発生前の映像を、設定した時間にさかのぼって保存します。
イベント前録画は最大 5 秒前より設定可能です。
【ポスト録画】…イベント後の録画を、最大 100 秒後まで持続させることができます。
【録画設定】画面下部の【確認】を押します。
※画質・コマ数の設定方法は P.25 をご覧ください。

録画設定方法について

センサー録画　外部センサーと連動して録画する方法です。

設定方法

1 ライブ映像時に、本体又はリモコンの【MENU】ボタンを押します

マウス操作の場合は、右クリックで簡易メニューを表示し、【設定】をクリックします。



メニューが表示されるので、【録画設定】をクリックします。



初期パスワード

ユーザー：admin　パスワード：ac797083

2 録画モードを【常時録画】に設定し、【常時録画】を選択します

画面上段の【常時録画】項目の【録画】欄のチェックが付いていれば外します。
画面下段の【イベント録画】項目の【録画】チェックボックスに印をつけます。
画面下部の【確認】を押します。



必要であれば【解像度】【FPS（録画コマ数）】【画質】【プリ録画】【ポスト録画】【音声】の設定を行います。
【プリ録画】…イベント発生前の映像を、設定した時間にさかのぼって保存します。
イベント前録画は最大 5 秒前より設定可能です。
【ポスト録画】…イベント後の録画を、最大 100 秒後まで持続させることができます。
【録画設定】画面下部の【確認】を押します。

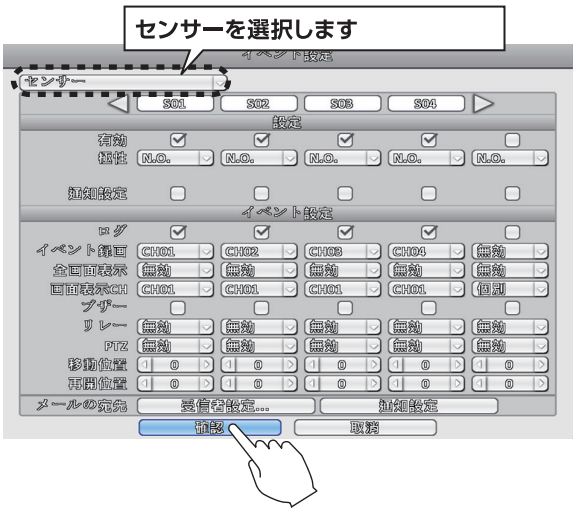
3 イベント設定を行う

メインメニューに戻り、【イベント設定】を選択します。



上部プルダウンの 5 項目から【センサー】を選択します。センサー設定をするカメラ番号の【有効】欄にチェックを入れます。

最後に【確認】ボタンを押します。



【通知設定】…センサー反応があった際、登録されているメールに発報します。
【ログ】…センサー反応があった際、イベントログに書き込まれます。
【イベント録画】…センサー反応があった際、録画を開始します。
【全画面表示】…センサー反応があった際、そのチャンネルが全画面表示になります。
【画面表示 CH】…センサー反応があった際、全画面表示するチャンネルを指定します。
【ブザー】…センサー反応があった際、ブザー音を鳴らします。
【リレー】…センサー反応があった際、リレーを開始します。
【PTZ】…センサー反応があった際、特定したチャンネルの PTZ コントロールモードに変更します。
【移動位置】…センサー反応があった際、プリセットした位置に移動します。
【再開位置】…センサー反応によりプリセットした位置に移動した後の戻し位置を設定します。
【メールの宛先】…センサー反応があった際に、メール発報する宛先を登録します。

録画設定方法について

画質・コマ数の設定

設定方法

1 ライブ映像時に、本体又はリモコンの【MENU】ボタンを押します

マウス操作の場合は、右クリックで簡易メニューを表示し、【設定】をクリックします。



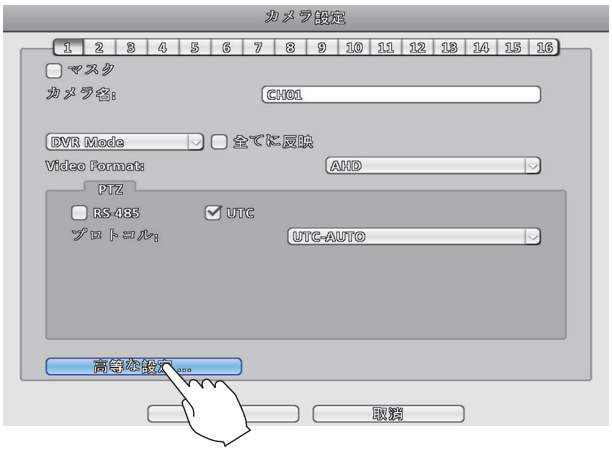
メニューが表示されるので、【カメラ設定】をクリックします。



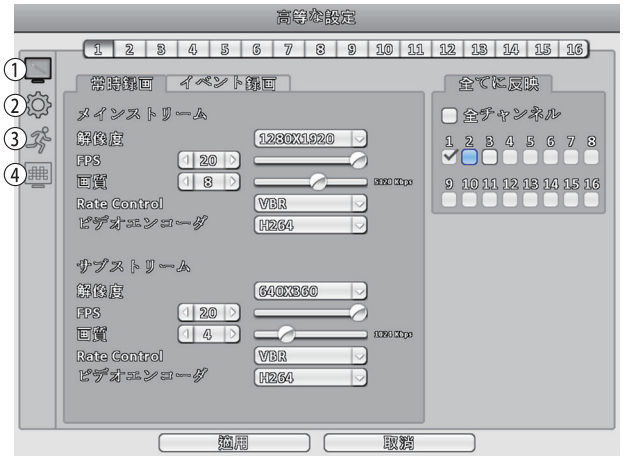
初期パスワード

ユーザー：admin　パスワード：ac797083

2 【高等な設定】を選択します



3 設定



① エンコーダー設定
画質、FPSの設定を行います。

② イメージ設定
明るさ等映像の調整を行います。

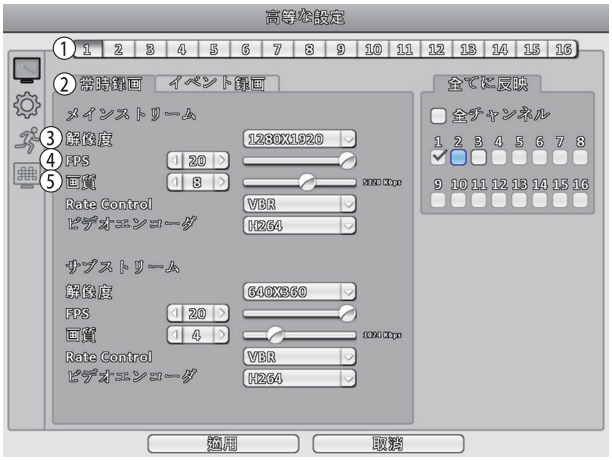
③ モーションエリア設定
モーションエリアの設定を行います。

④ マスク設定
マスクの設定を行います。

録画設定方法について

エンコーダー設定

画質、FPSの設定を行います。



① カメラ選択

設定するカメラ選択します。

② 録画モード選択

設定する録画モードを選択します。

③ 解像度

録画解像度を設定します。

※サブストリームは640×360のみです。
※接続しているカメラにより、
2560×1920、2560×1440、1920×1080、
1280×1440、1280×720、960×1080、
640×360 の中から選択可能です。

④ FPS

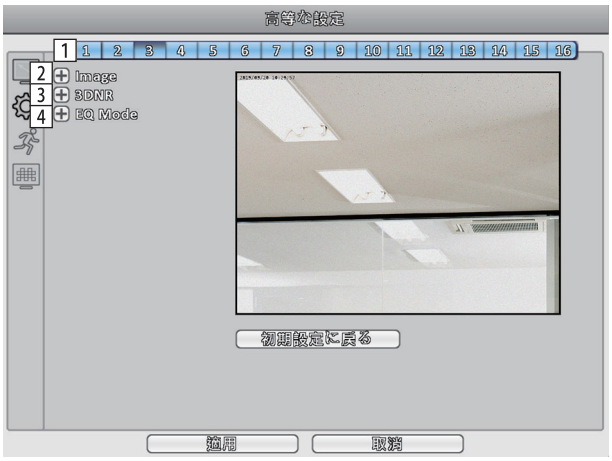
録画コマ数（FPS）を設定します。
1～20の間で設定し、20が最大です。

⑤ 画質

録画画質を設定します。
1～10の間で設定し、10が最大です。
※サブストリームは5が最大です。

イメージ設定

明るさ等映像の調整を行います。



1 カメラ選択

設定するカメラを選択します。

2 Image

明るさ等を設定します。



① ブライトネス

明るさを調整します（初期値：50）

② コントラスト

コントラストを調整します（初期値：50）

③ 彩度

彩度を調整します（初期値：50）

④ 色調

色調を調整します（初期値：50）

⑤ シャープネス

シャープネスを調整します（初期値：10）

⑥ 音量

音量を調整します（初期値：50）

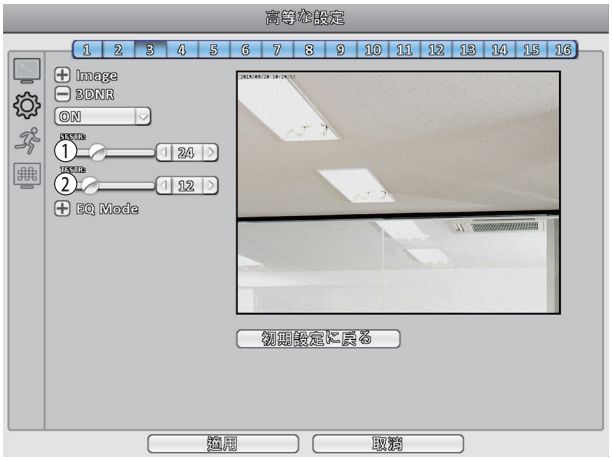
次ページに続きます。

録画設定方法について

イメージ設定

3 3DNR

映像のノイズの設定を行います。



① SFSTR

静止画のノイズ軽減を調整します。

② TFSTR

動画のノイズ軽減を調整します。

4 EQMode



① 自動

自動若しくは手動を選択します。
※自動でご使用ください。

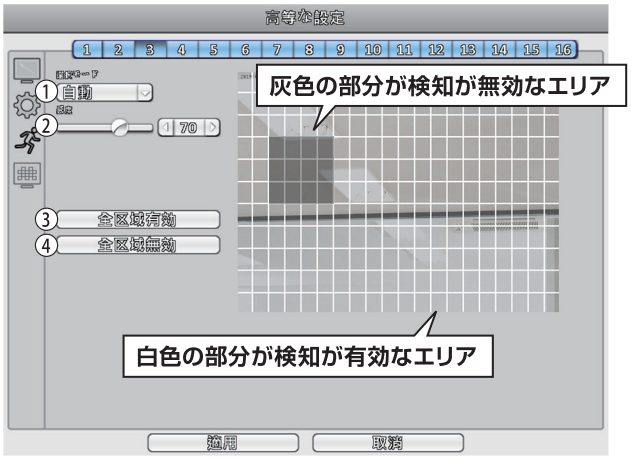
② 数値の選択

手動の場合1～10まで設定可能です。
※自動にてご使用ください。

モーションエリア設定

モーションエリアの設定を行います。

白い部分が動きを検知するエリアです。



① 選択モード

自動:選択したエリアが反転します。
・有効エリアを選択した場合無効
・無効エリアを選択した場合有効
有効：選択したエリアが有効になります。
無効：選択したエリアが無効になります。

② 感度

1～100の間で設定します。
※一番敏感な状態が100です。

③ 全区域有効

すべての区域でモーション検知が有効になります。

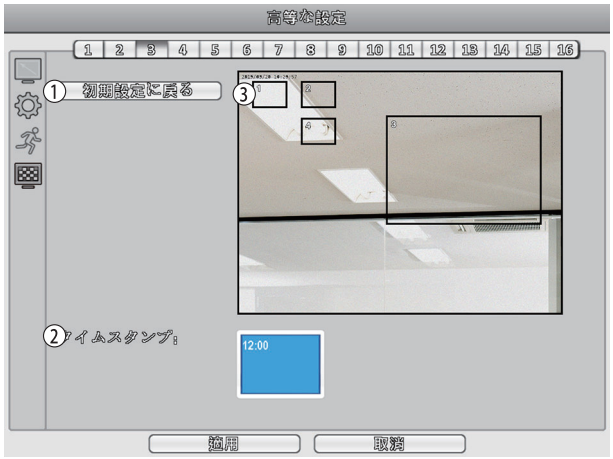
④ 全区域無効

すべての区域でモーション検知が無効になります。

録画設定方法について

マスク設定

マスクの設定を行います。



① 初期設定に戻る

設定した内容を全て初期設定に戻します。

② タイムスタンプ

時間表示の位置を変更できます。

③ プライベートマスクの設定

カメラ映像表示の一部だけを隠す場合に使用します。
四角の枠が映像を隠すためのゾーンとなります。
ダブルクリック：プライベートゾーンが有効になります。
四角の枠の中央で左クリックを押したまま移動します。
　→プライベートゾーンの移動
四角の枠線で左クリックを押したまま拡大、縮小します。
　→プライベートゾーンの拡大、縮小

再生方法について

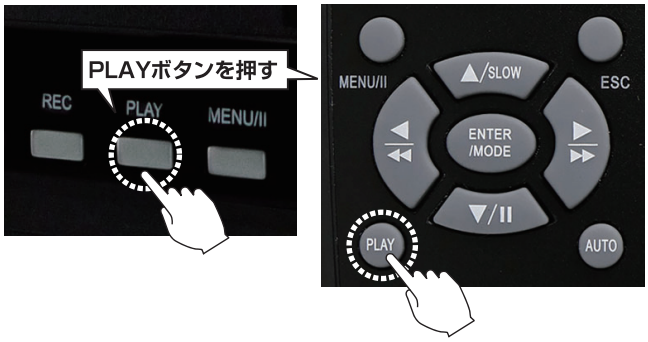
再生メニュー ※再生中に自動で表示します。

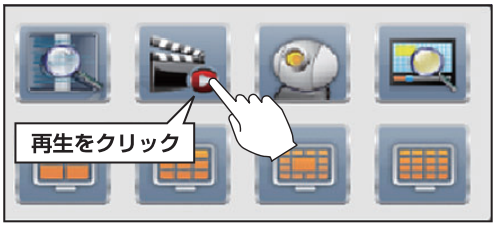


アイコン	説明
	再生
	一時停止
	逆方向再生 (×4,×8,×16,×32)
	スロー再生 (1/2,1/4,1/8)
	早送り (×4,×8,×16,×32)
	コマ送り (1/2,1/4,1/8)
	全画面表示
	4分割表示
	9分割表示
	再生の終了
	拡大表示
	タイムバーの表示 /非表示
	再生したい日付を選択できます
	現在再生している日付の前日・翌日へ移動

リアルタイム再生 初期パスワード **ユーザー：admin　パスワード：ac797083**

本体・リモコン操作：[PLAY] ボタン押します。
マウス操作：簡易メニューを表示し再生を選択します。





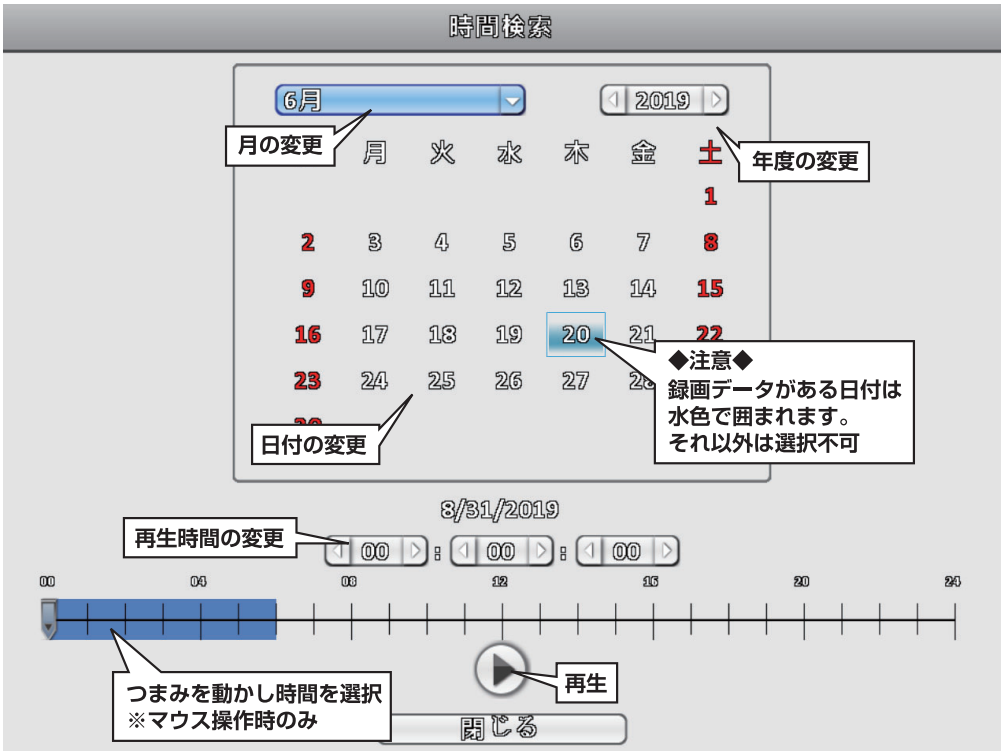
再生方法について

日時検索再生

本体またはリモコンの【MENU/❙❙】を押します。
マウス操作：右クリックで [簡易メニュー] を表示し
上の段の [日付検索] を選択します。

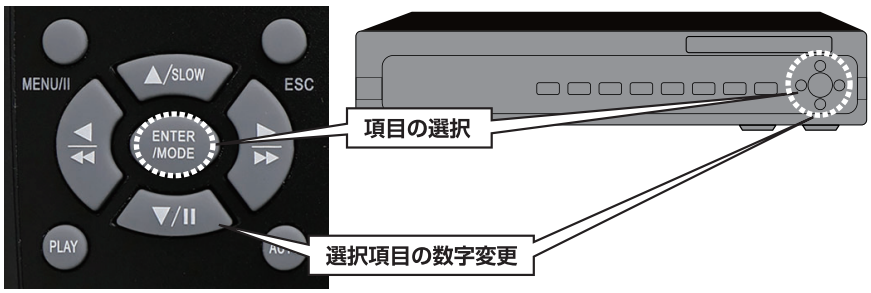






※水色の色がついている帯が映像を録画している時間帯を表しています。

①再生したい日付の上で左クリックもしくはリモコンの [ENTER] ボタンを押します。
②時、分、秒を選択します。
（マウスの場合つまみを動かし大まかな時間の選択が行えます。）
③再生ボタンを押します。

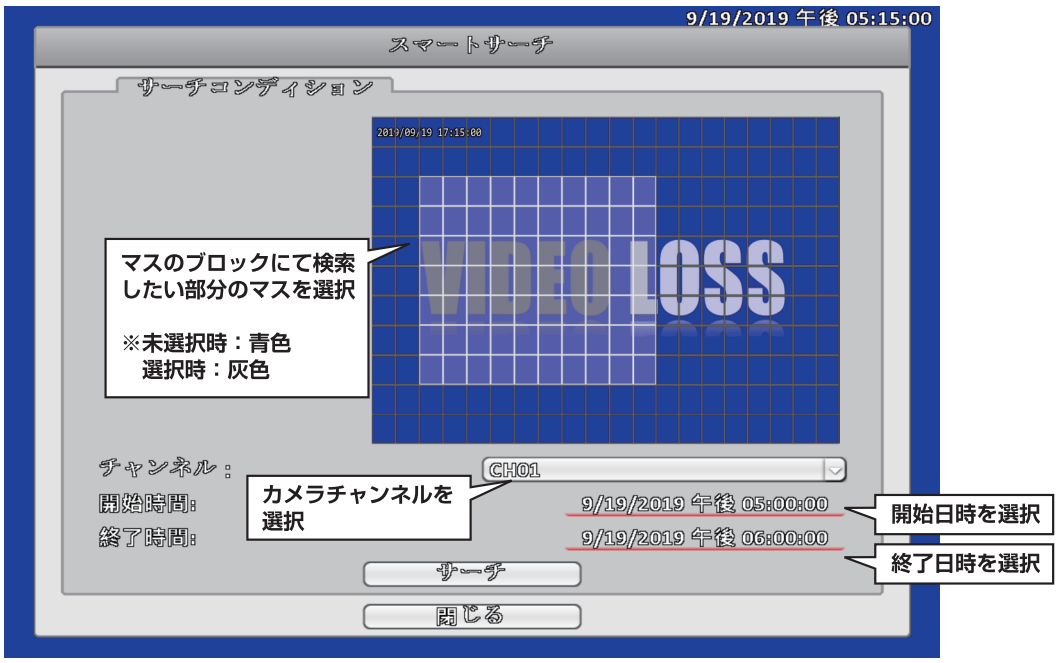


再生方法について

スマートサーチ再生　過去の映像にて、動体検知したエリアを絞って検索することができます。

本体またはリモコンの [MENU] ボタンを押し、簡易メニューを表示します。
マウスの場合は右クリックし、上段の右端のスマートサーチを選択します。





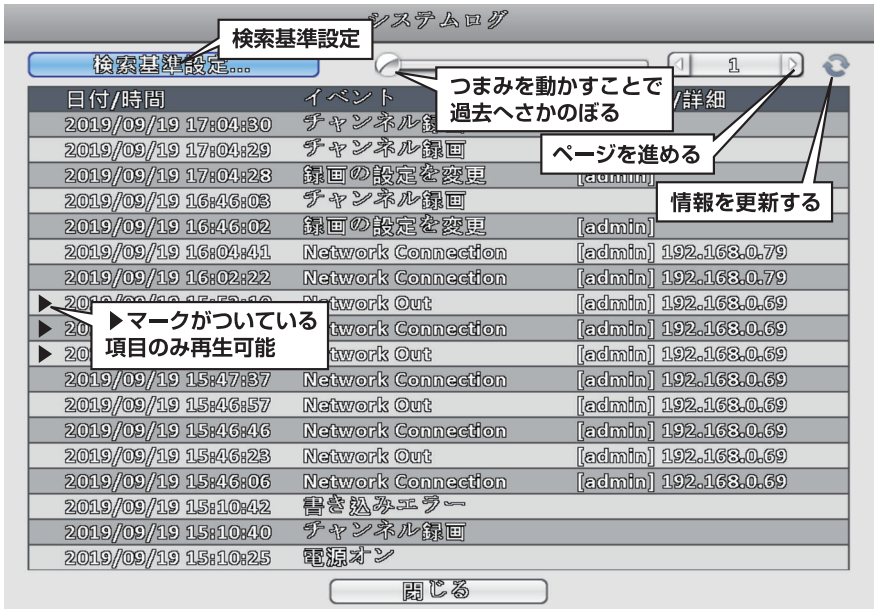
※リモコンではマスのブロック選択ができませんのでご注意下さい。マウスでの操作となります。
※検索対象はイベント録画、常時録画含む全てです。

再生方法について

イベント検索再生　システムログ再生

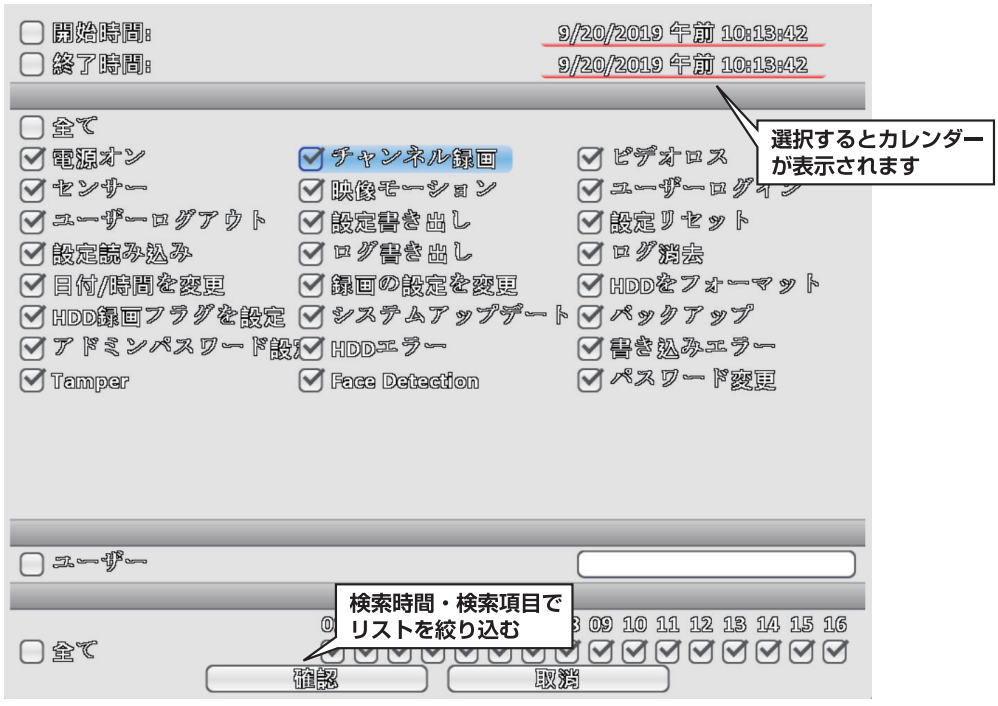
本体またはリモコンの [MENU] ボタンを押し、簡易メニューを表示します。
マウスの場合は右クリックし、上の段の右から 4 番目のシステムログを選択します。





マウス：再生するリストをクリック
リモコン：[ENTER/MODE] ボタン
本体：[OK] ボタン

検索基準設定

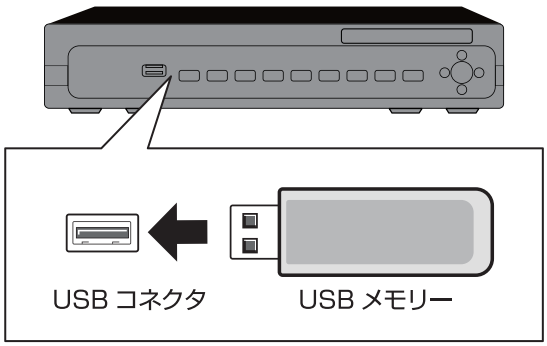


録画映像をUSBメモリーにコピーする

録画した映像を USB メモリーにコピーすることができます。コピーした映像はパソコンで見ることができます。

1 メディアを挿入します。

本体前面パネルまたは背面にある USB コネクタに USB メモリーを挿入します。



※あらかじめ再生画面にて、バックアップしたい年月日、時間を調べておきます。(1 回につき1～2 時間程度)

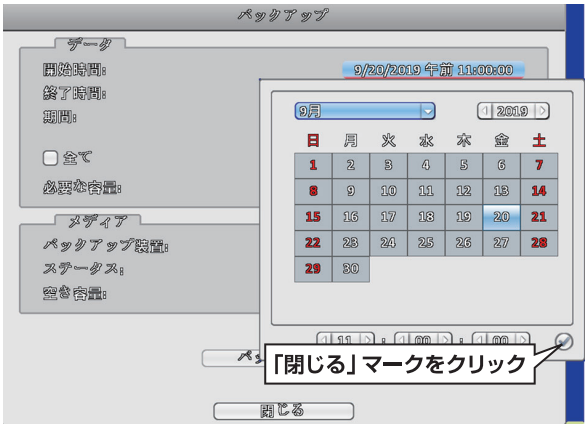
2 バックアップを表示します

ライブ映像時に、本体の【BACKUP】ボタンを押します。マウス操作の場合は【右クリック】、リモコンの場合は【MENU】で簡易メニューを表示し、【バックアップ】をクリックします。



3 開始時間・終了時間を指定します

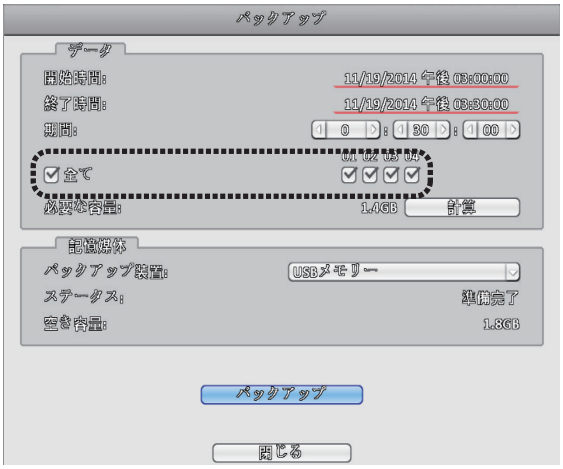
【開始時間】の【日付】を選択するとカレンダーが表示されますので、バックアップしたい年月日、時間を選択します。選択した後右下の【閉じる】をクリックして画面を閉じます。【終了時間】も同様に選択します。
※推奨：1 回につき 1 ～ 2 時間程度



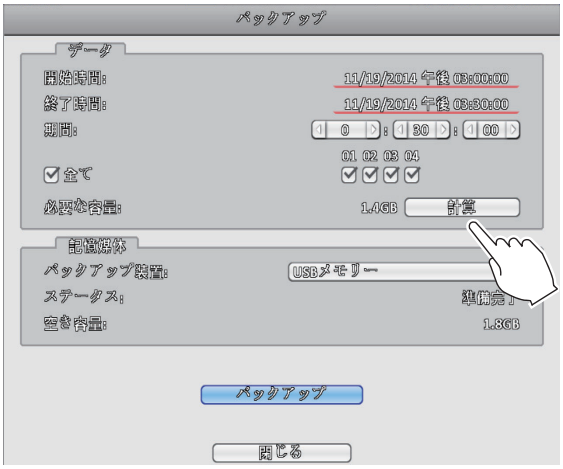
または【期間】項目から、何分間バックアップをとるか選択します。クリックすると数字が入力できます。



4 バックアップするカメラチャンネルを選択します



5 【計算】ボタンを押します



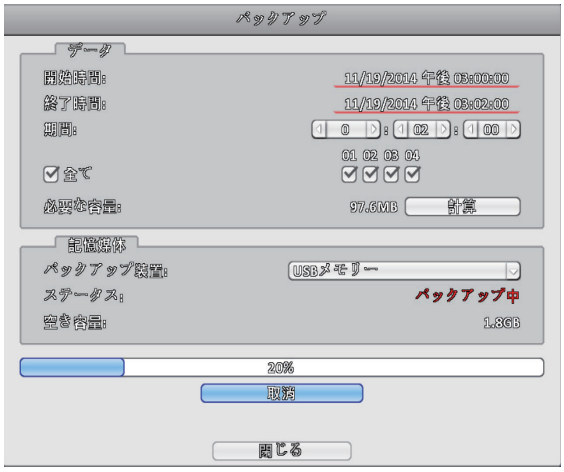
次ページに続きます。

録画映像をUSBメモリーにコピーする

6 保存先を選択します

【記憶媒体】項目の【バックアップ装置】を【USBメモリー】に設定します。【バックアップ】ボタンを押すと、バックアップが開始されます。
※USB【空き容量】よりも【必要容量】が大きいとバックアップができません。





7 バックアップの完了

画面上に【バックアップを完了しました。】と表示されたら、バックアップ完了です。【確認】ボタンを押して、終了します。



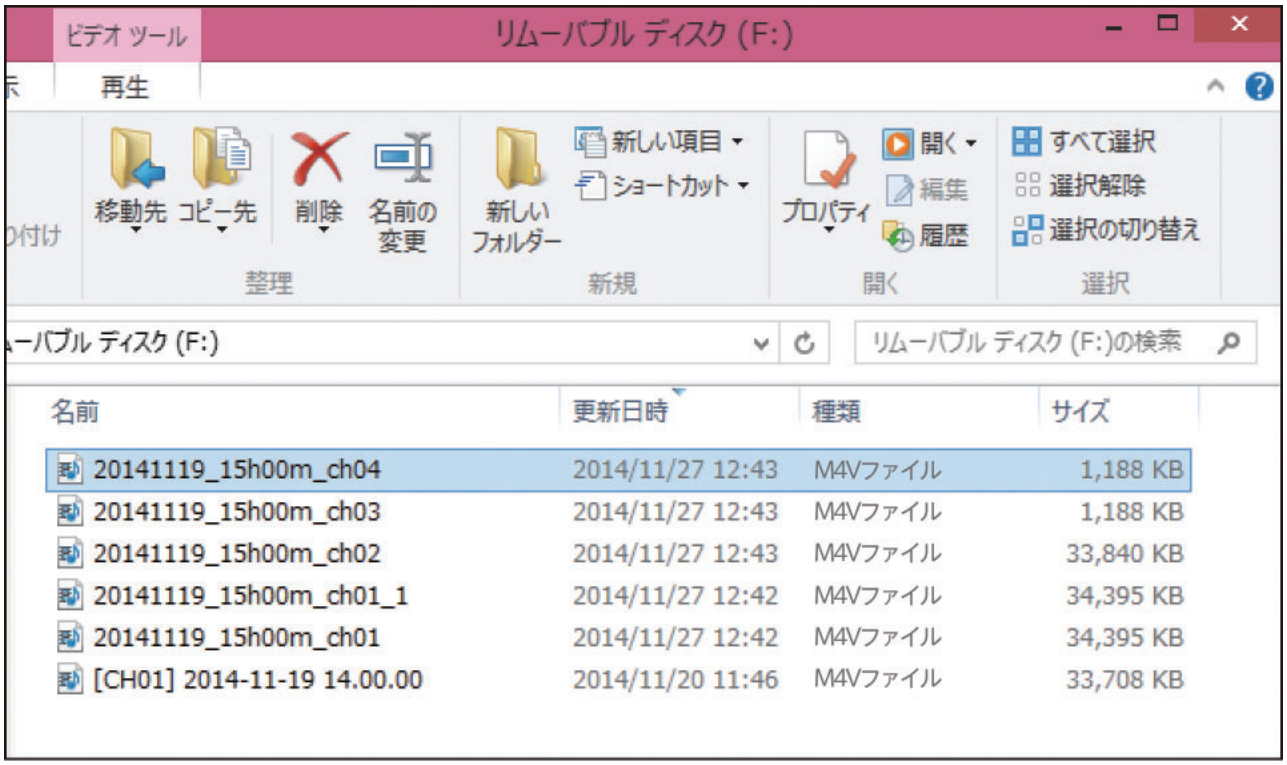
バックアップデータの再生

USB メモリーに保存したデータをパソコンで再生することができます。

1 USB メモリーを再生するパソコンに接続します。

2 データの再生

ファイル形式は【M4V ファイル】ですので、通常パソコンに入っている動画再生ソフトで見ることができます。
見たい項目をダブルクリックすれば、再生が始まります。



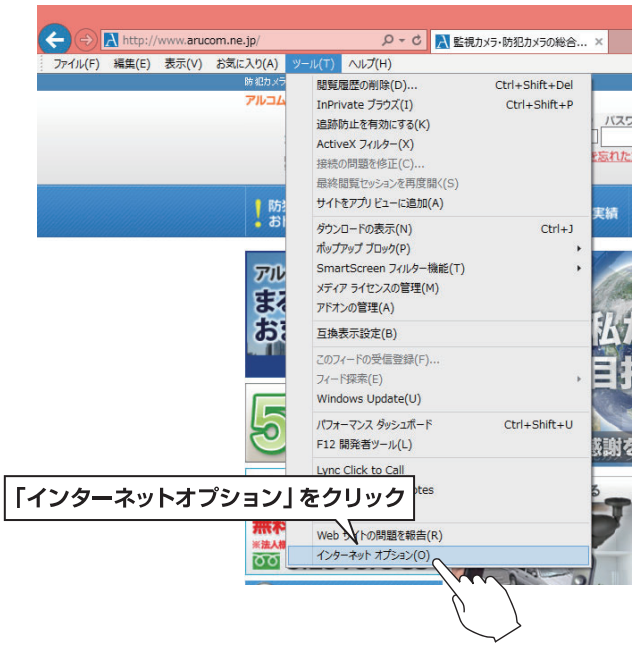
ネットワーク設定　PC設定手順

インターネットに接続されたパソコンから映像の閲覧、操作設定ができます。(対応 OS WINDOWS 7/8/10/MAC)
※事前に「ネットワーク」の設定を行う必要があります。

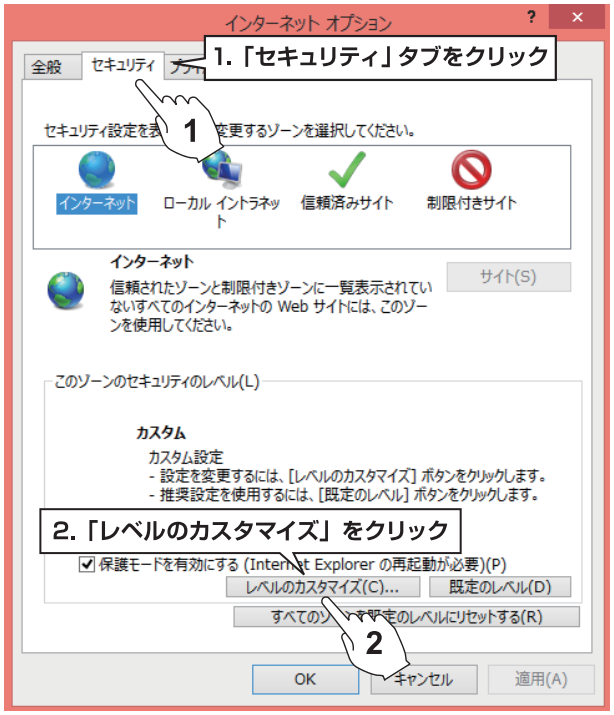
PC の初期設定 (Active X の設定変更手順)

PC でインターネットエクスプローラーを開きます。
※新しいバージョンを利用してください。

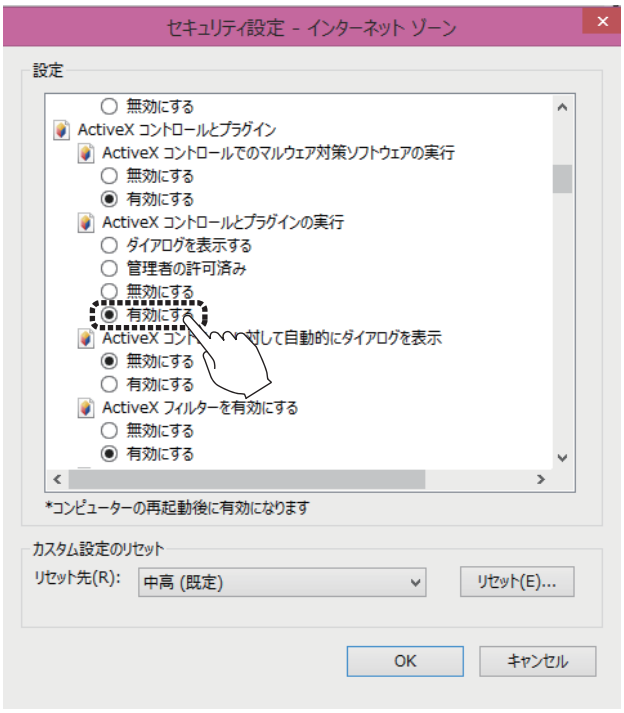
「ツール」メニューから「インターネットオプション」を選択。

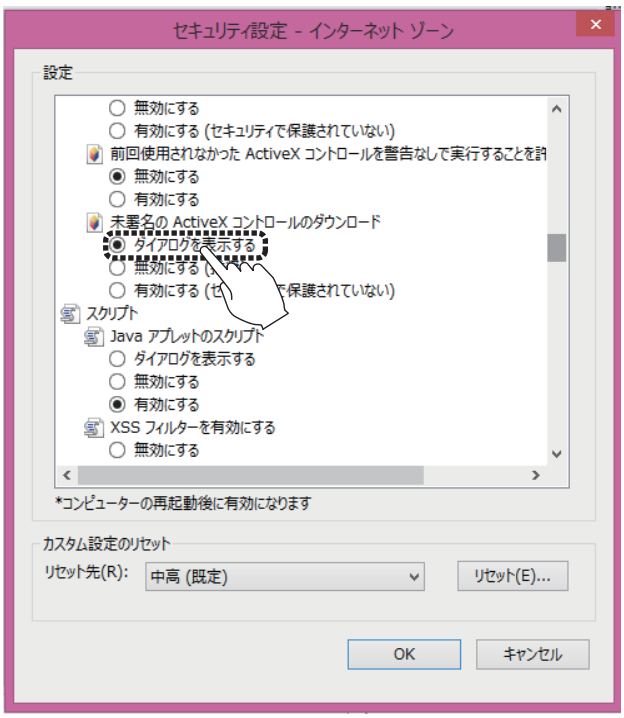


「セキュリティ」タブをクリックしてウインドウを切り替え
画面下部「レベルのカスタマイズ」をクリックします。



ActiveX の項目を変更する。
ActiveX コントロールとプラグインの実行の項目を【有効にする】に設定します。
未署名の ActiveX コントロールのダウンロードを【ダイアログを表示する】に設定します。

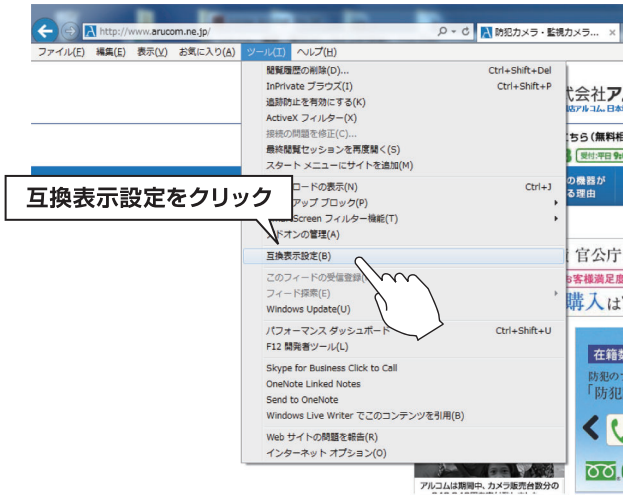




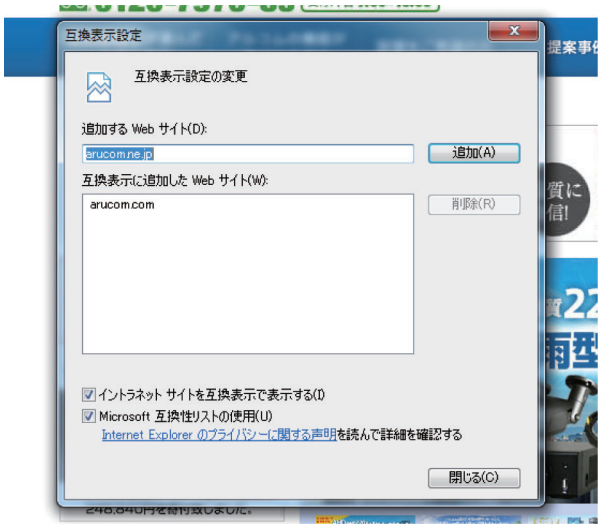
互換表示設定

PC でインターネットエクスプローラーを開きます。
※新しいバージョンを利用してください。

「ツール」メニューから「互換表示設定」を選択。



追加するWebサイトの欄にIPアドレスと：(コロン)、ポート番号を入力、追加します。

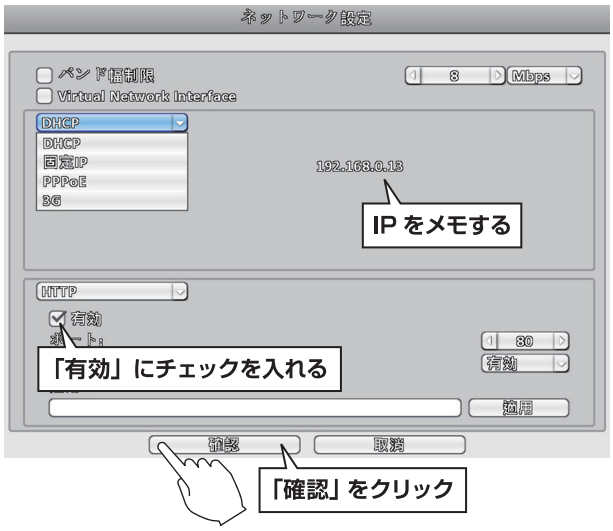


ネットワーク設定　レコーダー設定手順

1 DVR に LAN ケーブルを接続する

LAN ケーブル挿入口に LAN ケーブルを接続します。

2 IP アドレスの確認と設定



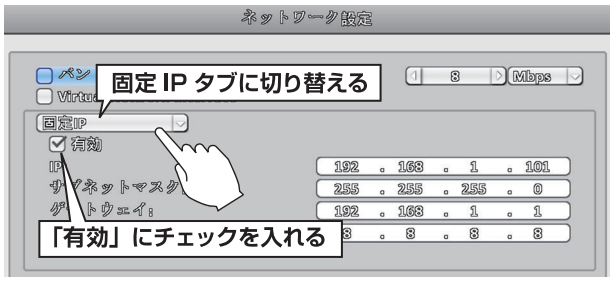
① LAN を差します。

② ネットワーク設定を開きます。

③ DHCP のタブで有効にチェックを入れ、下部確認をクリックします。

④ 再度ネットワーク設定を開き、DHCP タブの IP をメモします。

⑤ 固定 IP タブに切り替え、有効にチェックを入れます。



⑥ 先程メモした IP を入力します。

⑦ サブネットマスクは 255.255.255.0 にします。

⑧ ゲートウェイはルーターのアドレスを入力します。

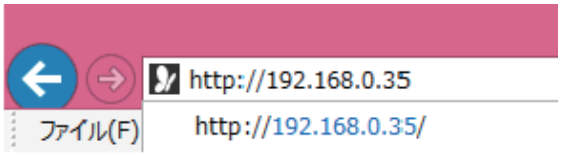
⑨ 確認をクリックします。

3 PC で Internet Explorer を開く

アドレス入力欄に IP アドレスと：(コロン)、ポート番号を入力します。

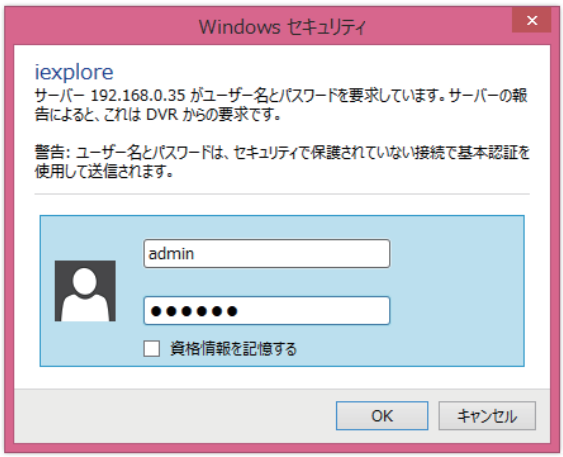
※警告の表示が出たら許可して進めてください。

○同一ネットワーク内からの接続
http//DVRに割り当てられたIPアドレス: ポート番号



例)123.456.7.890 : 80
IPアドレス　コロン ポート番号

4 インストール後、ログイン画面が表示されます



初期パスワード

ユーザー：admin　パスワード：ac797083

【ユーザー名】と【パスワード】を入力し、ログインを押すとメインページが表示されます。

iWatch DVR for Internet Explorer 7/8/9/10/11
download iWatch DVR for Windows XP/Vista/7/8
download iWatch DVR for Mac OS X 10.6 or above
JPEG viewer

Android　iPhone iPad　Windows Phone 7

【メインページ】

●遠隔監視にはグローバルIPアドレスの確認と、ポートの開放が必要となります。
・グローバルIPアドレスは検索サイト等にアクセスして確認してください。
・ポートの開放方法についてはご使用のルーターのメーカーへお問い合わせください。

ネットワークアクセス スマートフォンからのアクセス手順

1 スマートフォンにアプリをダウンロードします。

【SoCatch】ダウンロード画面を表示し【インストール】ボタンを押します。
インストール完了になると、【開く】ボタンを押して起動します。

iPhone の場合 App Store で【SoCatch】を検索します。
Android の場合 Google Play で【SoCatch】を検索します。

iWatch DVR for Internet Explorer 7/8/9/10/11
download iWatch DVR for Windows XP/Vista/7/8
download iWatch DVR for Mac OS X 10.6 or above
JPEG viewer

Android

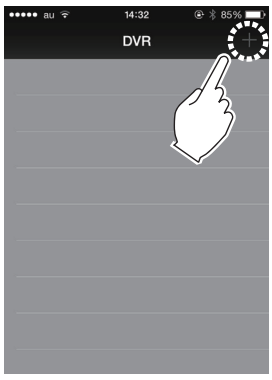
iPhone
iPad



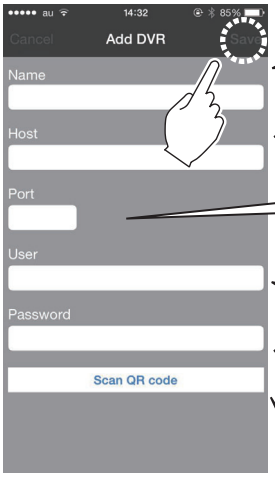
●アプリ画面は実際の画面と異なる場合がございます。

2 レコーダーを登録します。

右上の【+】マークを押します。



3 登録に必要な情報を入力します。



任意で名前を付けます

レコーダー設置場所の
【IP アドレス】を入力します

レコーダーに設定している
【ポート番号】を入力します

【ユーザー名】を入力します
初期値：admin

【パスワード】を入力します
初期値：ac797083

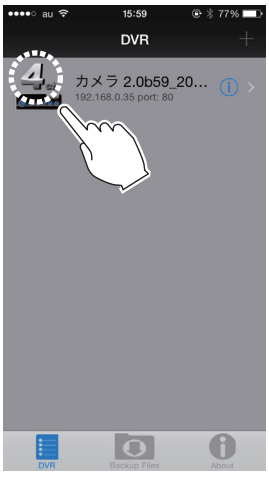
※使用しません。

パスワードまで入力できれば、画面上部の【Save】ボタンを押して登録します。

4 登録ができれば、ライブ映像が表示されます。



登録後はアイコンをタッチすると、ライブ映像が表示されます。



録画設定



常時録画



① 常時録画 / スケジュール録画
常時録画とスケジュール録画の設定を切り替えます。

② CH01 ～ 04
カメラのチャンネル数です。

③ 録画
録画をするカメラを選択します。

④ 解像度
録画解像度を設定します。

※サブストリームは640×360のみです。
※接続しているカメラにより、
2560×1920、2560×1440、1920×1080、
1280×1440、1280×720、960×1080、
640×360 の中から選択可能です。

⑤ FPS
録画コマ数（1秒間にきるシャッターの数）を変更できます。
数字が大きくなるほどシャッター回数が増え、映像が滑らかになります。

⑥ 画質
10～100までの数値で設定可能です。
変更方法はP.25をご覧ください。

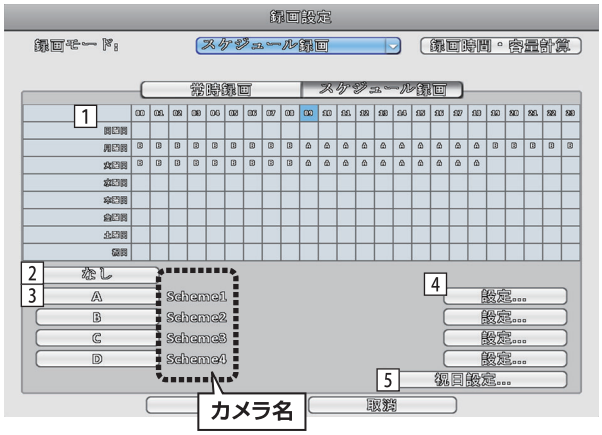
⑦ プリ録画
イベント録画をする際に何秒前から録画するかを設定します。
0 ～ 3 秒までの数値で設定可能です。

⑧ ポスト録画
イベント発生後の録画時間を設定します。
0～100秒の間で設定可能です。

⑨ 音声
録音するチャンネルを選択します。
※マイク未接続の場合は使用しません。

録画設定

スケジュール録画



1 週間カレンダー

横軸：時間（0時から23時まで）
縦軸：曜日（日曜日から土曜日・祝日）

2 なし

週間カレンダーのスケジュールを削除します。

3 A ～ D

週間カレンダーにスケジュールを設定する際に使用します。
A から D の 4 パターンの録画内容を作成できます。
（スケジュール内容作成は4で設定をおこないます。）

4 設定



① カメラ名

録画パターンの名称を変更できます。

② CH01 ～ 04

カメラのチャンネル数です。

③ 録画

録画をするカメラを選択します。

④ 音声

録音するチャンネルを選択します。
※マイク未接続の場合は使用しません。

⑤ プリ録画

イベント録画をする際に何秒前から録画するかを設定します。
0 ～ 5 秒までの数値で設定可能です。

⑥ ポスト録画

イベント発生後の録画時間を設定します。
0～100秒の間で設定可能です。

⑦ モーション検知

モーション検知するカメラを選択します。

⑧ センサー

センサー検知するカメラを選択します。

⑨ Mail

イベント検知をしたらメールで知らせます。

⑩ 通知設定

イベント検知をしたらSoCatch(携帯)に通知します。

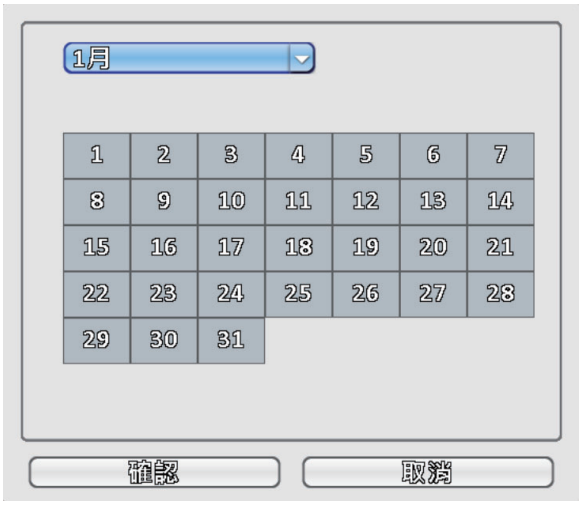
⑪ Tamper

Tamper発生時(物でレンズを塞がれたり、遮断された場合)にメールやSocatchに通知します。

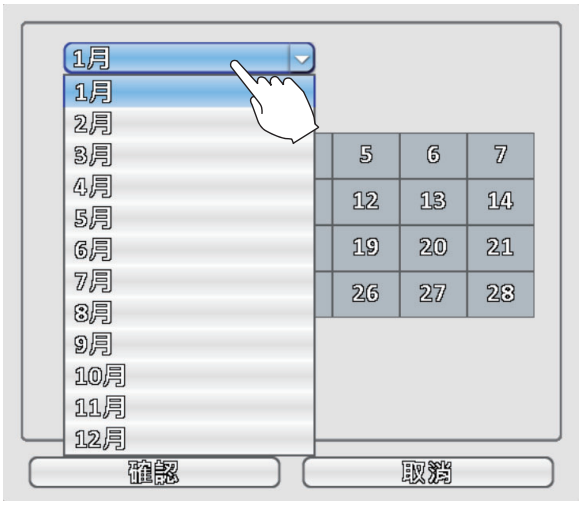
次ページに続きます。

録画設定

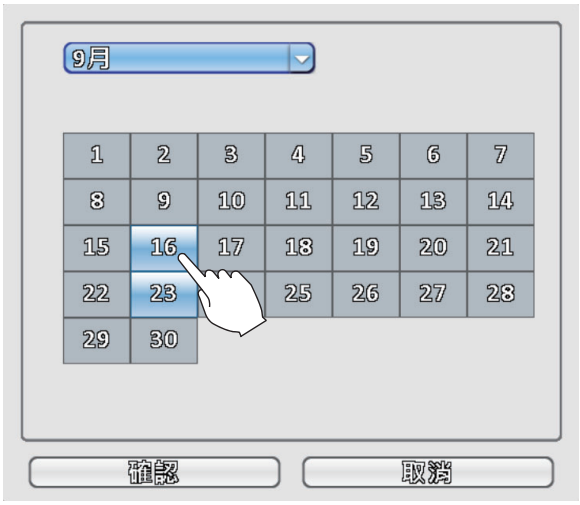
5 祝日設定



設定月を選択します。



祝日に設定する日にちを選択します。



イベント設定



ビデオロス



① 有効
チェックを入れるとビデオロス検知を有効にします。

② 通知設定
センサーに反応があった場合、登録されているメールアドレスに発報します。

③ ログ
チェックを入れると、システムログにログを記録します。

④ イベント録画
イベント録画を有効にするチャンネルを選択します。

⑤ 全画面表示
イベント感知した際、該当チャンネルを全画面表示にする/しないの設定を行います。

⑥ 画面表示 CH
イベント感知した際、全画面表示するチャンネルを指定します。

⑦ ブザー
イベント感知した際、ブザー音を鳴らします。

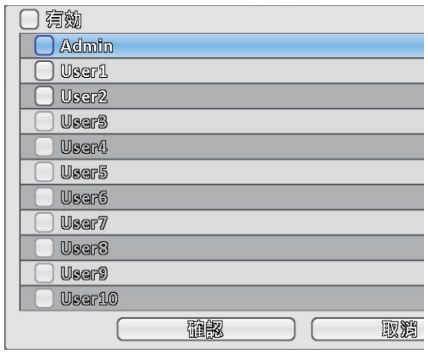
⑧ リレー
イベント感知した際、リレーを開始します。

⑨ PTZ
イベント感知した際、特定したチャンネルのＰＴＺコントロールモードに変更します。

⑩ 移動位置
イベント感知した際、プリセットした位置に移動します。

⑪ 再開位置
位置移動した後の戻し位置を設定します。

⑫ メールの宛先
イベント検知した際、アカウント設定で設定したメールアドレスにメールを送ります。



モーション検知

モーション検知時の設定を行います。



① 有効
チェックを入れるとモーション検知を有効にします。

② 通知設定
チェックを入れるとセンサーに反応があった場合、登録されているメールアドレスに発報します。

※領域設定に関しては、P.25「高等な設定」をご確認ください。

イベント設定

センサー録画

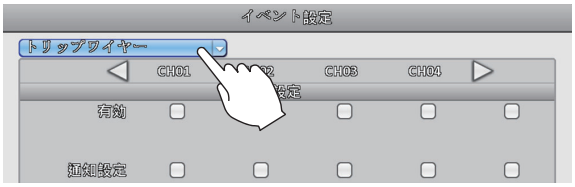
外部センサー接続時に設定します。



※その他の説明は P.43【ビデオロス】②～⑫を参照

トリップワイヤー

エリア内の持ち込み持ち出し設定を行います。
通常は使用いたしません。



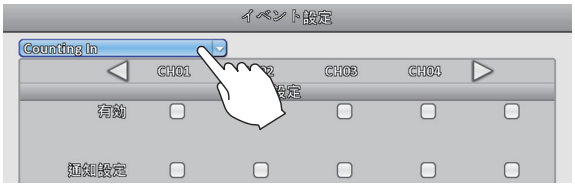
パラメーター

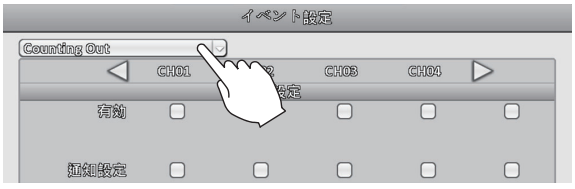
エリア内のラインクロスイン (画面上にラインを引き設定) を行います。通常は使用いたしません。



Counting In ／ Counting Out

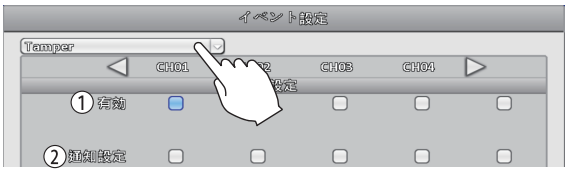
エリア内の人数カウント設定ができます。
通常は使用いたしません。





Tamper

Tamper 発生時にメール通知の設定を行います。



① 有効

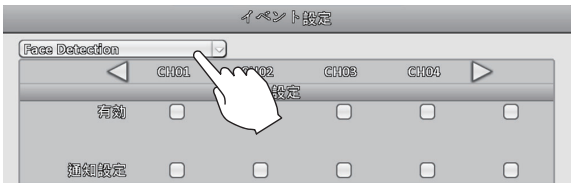
チェックを入れるとTamperを有効にします。

② 通知設定

チェックを入れるとセンサーに反応があった場合、
登録されているメールアドレスに発報します。

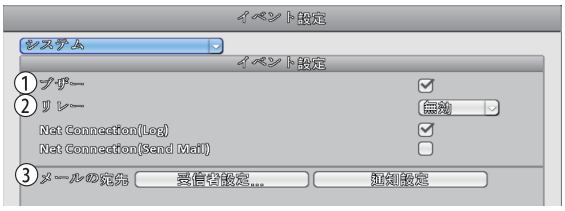
Face Detection

エリア内の顔認証設定を行います。
通常は使用いたしません。



システム

イベント発生時にメール通知の設定を行います。



① ブザー

録画エラー発生時のメール通知を設定します。

② リレー

イベント発生時のリレー設定を行います。

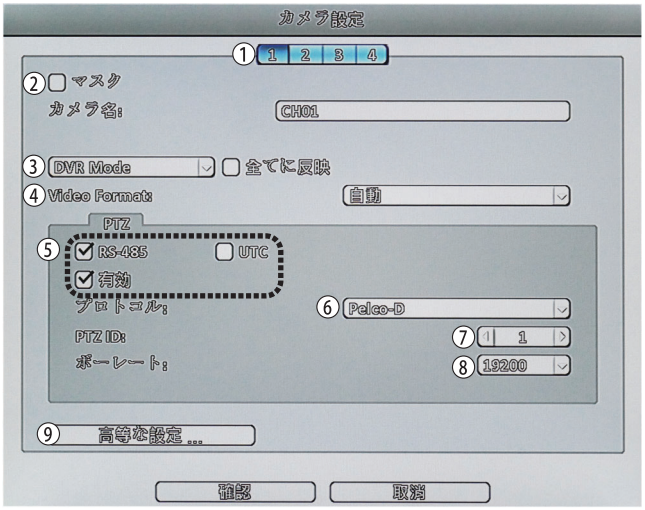
③ メールの宛先

イベント発生時の受信者設定を行います。

※その他の説明は P.43【ビデオロス】②～⑫を参照

カメラ設定





① カメラの選択
設定をするカメラを選択します。

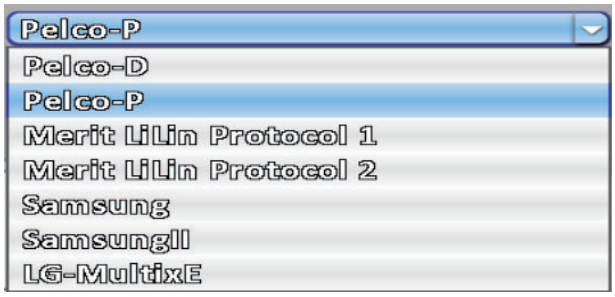
② マスク
チェックを入れるとモニターに表示されなくなります。
（表示されないだけで録画はされます。）

③ DVR Mode
この状態のままご使用ください。

④ Video Format
初期設定「自動」のままでご使用ください。

⑤ RS-485/UTC/ 有効
この状態のままご使用ください。

⑥ PTZ プロトコル
PTZカメラ接続時に通信プロトコルを選択します。



⑦ PTZ ID
PTZカメラのIDを入力します。

⑧ ボーレート
PTZカメラのボーレートを選択します。

⑨ 高等な設定
高等な設定の説明はP25をご覧ください。

アカウント設定

ユーザーの登録・権限などを設定します。



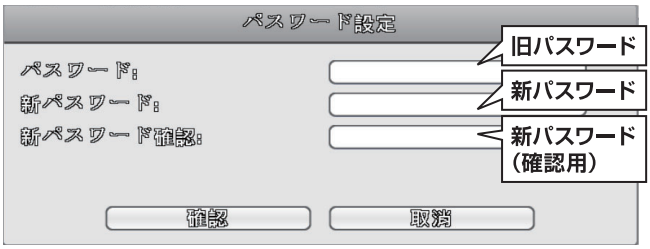


1 ユーザーを選択します

Admin は管理者のアカウント、1～10は権限を設定できます。

2 パスワード

パスワードを変更します。



3 E メール

設定をするとイベント設定した際に通知メールが届きます。
※P.49 の【メール設定】の入力も必要です。



4 確認

設定を保存します。

5 取消

設定を保存せずに終了します。

アカウント設定

管理者以外の権限設定



1 ユーザーを選択します

権限を登録するユーザーを選びます。

2 有効

チェックを入れるとアカウントが有効になります。

3 期限

チェックを入れるとアカウントの有効期限を設定します。

4 カメラ名

ユーザー名を登録します。

5 パスワード

ログインするためのパスワードを設定します。

6 E メール

メールアドレスを登録します。

7 許可

許可する権限を選択します。（右記参照）

8 確認

設定を保存します。

9 取消

設定を保存せずに終了します。

・録画装置再生…映像の再生を許可します。
（カメラチャンネルが指定できます）

・遠隔ライブ&再生…ネットワークからのライブ映像、録画再生が可能です。

・コンソール…実機での操作

・リモート…遠隔での操作

・ライブ
ライブ映像の監視が可能です。

・再生
録画の再生が可能です。

・バックアップ
映像のバックアップが可能です。

・設定
設定変更が可能です。

・システム
システムの設定・変更が可能です。

・PTZ&Relay
PTZ と Relay の設定が可能です。

ネットワーク設定



1 バンド幅制限

ネットワーク転送容量を制限します。
（1kbps～9999Mbpsで設定可能です。）

2 ①DHCP

DHCP設定を行います。
※ネットワーク設定(P.38)を参照

②固定 IP

固定IP設定を行います。
※ネットワーク設定(P.38)を参照

③PPPoE
④3G

使用しません。

3 ①HTTP　HTTP設定を行います。

②DDNS　DDNS設定を行います。

③NTP

ネットでの時間修正を設定します。

④メール設定

メール通知設定を行います。

⑤FTP

使用しません。

⑥ICMP

IPプロトコルの「エラー通知」や「制御メッセージ」を転送するためのプロトコルです。ネットの通信接続状態が正常かどうか確認するために使用されます。

⑦UPnP

UPnP対応ルータであれば使用可能です。

4 確認

設定を保存してメニューを終了します。

5 取り消し

設定を保存せずにメニューを終了します。

3 ①HTTP



① 遠隔監視をする際にチェックが必要です。

② ポート番号

ポート番号を設定します。
設定したポート番号はルーターの設定でポート開放する必要があります。

3 ②DDNS

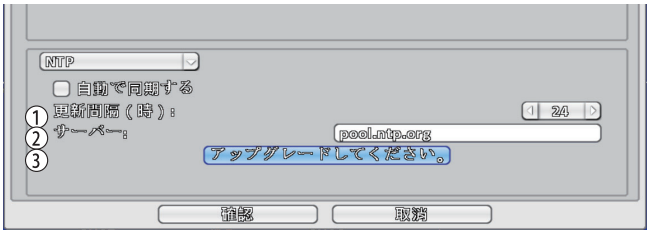


① チェックが入っているとき、DDNSの使用が有効です。

② DDNSの種類を選択します。

③ DDNSに登録したホスト・ユーザー・パスワードを入力します。

3 ③NTP



次ページに続きます。

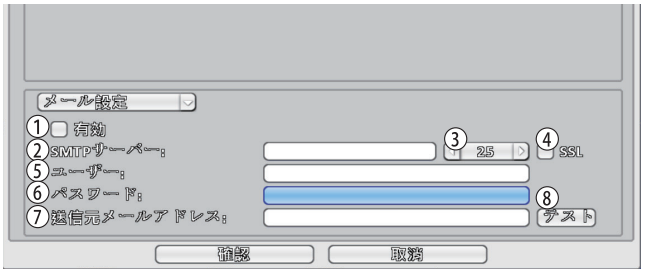
ネットワーク設定

① チェックが入っているとき、インターネットを通じて
時刻を正確に保ちます。
※ネット接続時のみ

② 時刻を取得更新する間隔を設定します。

③ 時刻を取得するサーバーです。
ＮＴＰサーバーに使用するＵＲＬを入力します。
※ネット接続時のみ

3 ④メール設定



① チェックが入っているとき、Ｅメール送信が有効です。

② ＳＭＴＰサーバー名を入力します。

③ ポート番号を設定します。

④ チェックを入れるとＳＳＬに対応します。

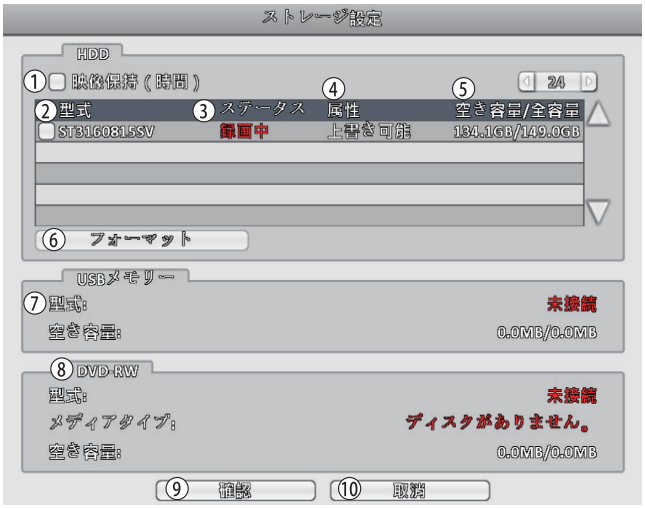
⑤ 送信者のユーザー名を入力します。

⑥ 送信者のメールアドレスのパスワードを入力します。

⑦ 送信元のメールアドレスを入力します。

⑧ 設定が間違っていないかテスト送信を行います。
※送信者アドレスをＧｍａｉｌにすれば簡単です。
1.Ｇｍａｉｌのアドレスを作成します。
（ＧｍａｉｌはＧｏｏｇｌｅの無料メールサービスです）
2.下記のように設定します。
ＳＭＴＰサーバー：smtp.gmail.com
ポート：465
ＳＳＬ：チェックを入れる
ユーザー：ユーザー名を入力
パスワード：Ｇｍａｉｌアドレスのパスワードを入力
送信元メールアドレス：作成したＧｍａｉｌのアドレス

ストレージ設定



① 映像保持（時間）

チェックを入れるとHDD容量がいっぱいにならなくても設定した時間を経過すると保存データが削除されます。

② 型式

内蔵HDDの型式を表示します。

③ ステータス

HDDの状態を表示します。

④ 属性

HDDの属性を表示します。

⑤ 空き容量 / 全容量

内蔵HDDの全容量と空き容量を表示します。

⑥ フォーマット

内蔵HDDのフォーマットを行います。

⑦ USB メモリー

接続したUSBフラッシュメモリの情報を表示します。

⑧ DVD-RW

本商品では使用しません。

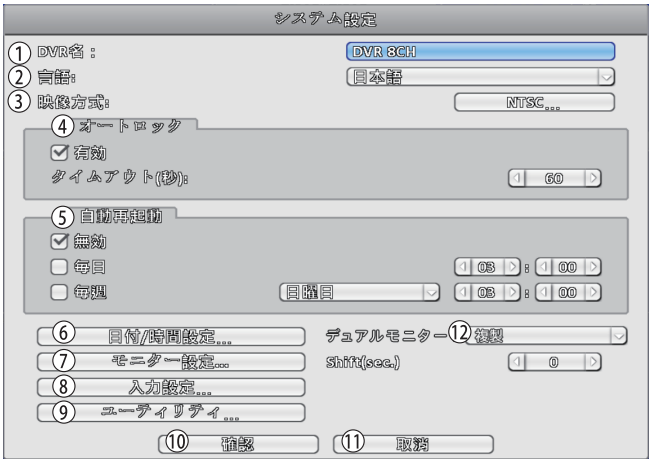
⑨ 確認

設定を保存してメニューを終了します。

⑩ 取消

設定を保存せずにメニューを終了します。

システム設定



① DVR 名
DVR（本機）に設定されている名称を変更します。

② 言語
各種言語への切り替えが可能です。

③ 映像方式
NTSCとPALの切り替えが可能です。
（NTSCで使用します。）

④ オートロック
未操作時に、本体がロックされる時間を設定します。
（10～9999秒の間で設定）

⑤ 自動再起動
本体自動再起動の周期を設定します。

⑥ 日付 / 時間設定
日時を設定します。

⑦ モニタ設定
モニタの色味、出力解像度の設定を行います。

⑧ 入力設定
リモコン、マウスなどの入力信号の設定をおこないます。

⑨ ユーティリティ
設定のリセットやログの書き出しやファームウェアの
アップデートを行います。

⑩ 確認
設定を保存してメニューを終了します。

⑪ 取り消し
設定を保存せずにメニューを終了します。

⑫ デュアルモニター
接続している映像出力の優先度を選択します。
※8ch･16chのみ対応可能の機能になります。

日付時間設定



① 時間の表示方法を選択します。

② 日付の表示方法を選択します。

③ NTP サーバ接続のタイムゾーンを設定します。
（日本の場合 +9：00 に設定します。）

④ サマータイムを有効にする場合にチェックをいれます。
（2014 年時点で、日本国内では使用しません。）

⑤ 日付、時間を設定します（設定方法は次ページです。）

⑥ 確認　設定を保存してメニューを終了します。

⑦ 取り消し　設定を保存せずにメニューを終了します。

次ページに続きます。

システム設定

時間設定方法



① 月を選択します。

② 西暦を選択します。

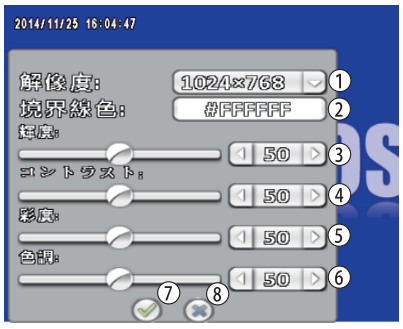
③ 日にちを選択します。

④ 時間、分、秒を選択します。

⑤ 設定を保存してメニューを終了します。

⑥ 設定を保存せずにメニューを終了します。

モニター設定



① 解像度

解像度を設定します。
（変更後モニタが対応していない場合、映像は真っ暗になります。）

② 境界線色

境界線の色（デフォルトは白）を設定します。

③ 輝度

輝度を調整します。（初期値は50）

④ コントラスト

コントラストを調整します。（初期値は50）

⑤ 彩度

彩度を調整します。（初期値は50）

⑥ 色調

色調を調整します。（初期値は50）

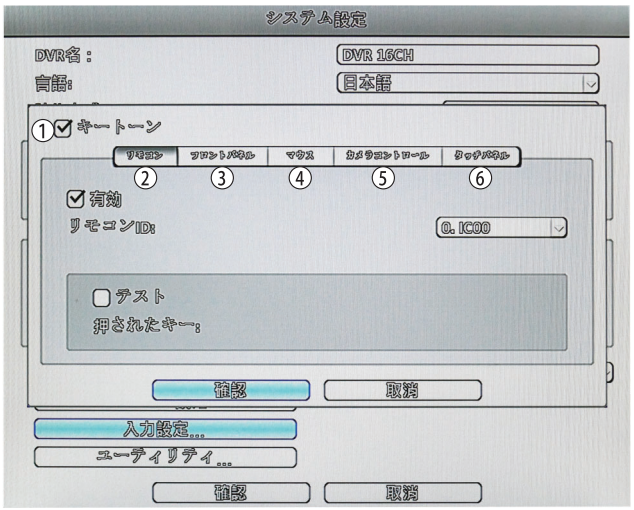
⑦ チェックマーク

設定を保存してメニューを終了します。

⑧ × マーク

設定を保存せずにメニューを終了します。

入力設定



① キートーン

ボタンやリモコンを押した時の音の有無を設定します。

② リモコン

リモコンのID設定や動作チェックを行います。

③ フロントパネル

フロントパネルの動作チェックを行います。

④ マウス

マウスの移動速度を設定します。

⑤ カメラコントローラー

カメラ操作用のリモコンの設定を行います。
（通常は使用しません。）

⑥ タッチパネル

本機では使用いたしません。

システム設定/システム情報

ユーティリティ



① 設定書き出し
現在の設定をUSBフラッシュメモリに書き出します。

② 設定読み込み
USBフラッシュメモリから設定を読み込みます。

③ 設定リセット
設定を工場出荷時の状態に戻します。

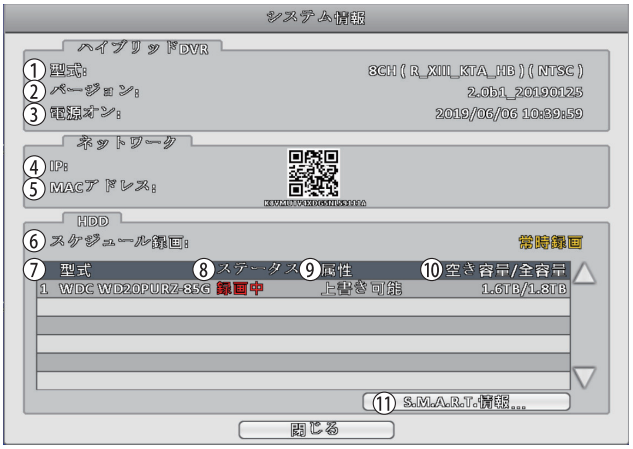
④ ログ書き出し
ログをUSBフラッシュメモリに書きだします。

⑤ ログ消去
レコーダーに記録されたログを消去します。

⑥ ファームウェアアップグレード
ファームウェアのアップグレードを行います。

⑦ 閉じる
設定画面を閉じます。

システム情報



① 型式
レコーダーの種類を表します。

② バージョン
レコーダーのファームウェアを表します。

③ IP
レコーダーに設定されているIPアドレスを表します。

④ 電源オン
レコーダーの電源がONになった時間を表します。

⑤ MAC アドレス
レコーダーのMACアドレスを表します。

⑥ スケジュール録画
現在の録画設定状態を表します。

⑦ 型式
内蔵されているHDDの型式を表します。

⑧ ステータス
HDDの現在の状況を表します。

⑨ 属性
HDDの状態を表します。

⑩ 空き容量 / 全容量
HDDの容量を表します。

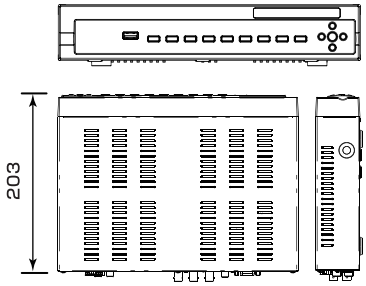
⑪ S.M.A.R.T 情報
HDDの情報を表示します。

仕様 RD-RA2204 / RD-RA2208 / RD-RA2216

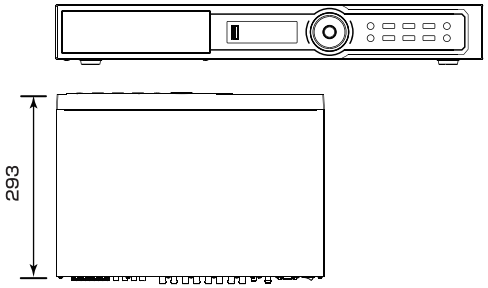
型番	RD-RA2204	RD-RA2208	RD-RA2216
録画解像度	4M/5Mカメラ接続時…640×360、1280×720、1280×1440、1920×1080、2560×1440、2560×1920 AHDカメラ接続時…640×360、960×1080、1280×720、1920×1080 アナログカメラ接続時…944×480、704×480、352×240 ※接続しているカメラにより解像度が変わる場合がございます。		
録画記録方式	H.265 デジタル圧縮方式		
映像入力	BNC×4	BNC×8	BNC×16
映像出力	HDMI×1 、BNC×1 、VGA×1		
分割表示	全画面、4分割	全画面、4分割、9分割	全画面、4分割、9分割、16分割
音声入力/出力	4ライン入力(RCA) / 2ライン出力(RCA)		16ライン入力(RCA)/2ライン出力(RCA)
録画画質	10段階（最低1～10最高）		
内蔵HDD容量	2000GB		
録画モード	自動録画、手動録画、スケジュール録画、センサー録画、モーション録画		
バックアップ方法	USBフラッシュメモリー、ネットワーク		
アラーム入力/出力	4入力 / 1出力		
アラーム検出	N.C./N.O.　選択可能		
モーション検知	あり		
ビデオロス検知	あり		
上書き機能	あり		
対応OS	Windows7・Windows8・Windows10		
リモート操作	ライブ監視、再生、録画、システム設定		
モバイル監視	iPhone／iPad／Android		
対応アプリ	So catch		
外形寸法 / 重量	約280（幅）×203（奥行）×51（高さ）mm		約430(幅)×293(奥行)×55(高さ)mm
重量	約1kg（HDD未装着時）	約1.05kg（HDD未装着時）	約2.4kg（HDD未装着時）
動作環境温度/湿度	-5度～55度/湿度:90%		
電源	DC12V/3A		DC12V/5A
付属品	取扱説明書、電源アダプター、HDMIケーブル、USBマウス、リモコン		

■ 外形寸法図（単位:mm）

RD-RA2204/2208シリーズ



RD-RA2216シリーズ



故障かな?と思ったら

症状	原因	処置のしかた
電源が入らない	電源コンセントが外れている	確実にコンセントに差し込む
		ACアダプターの繋ぎめの確認
	ACアダプターの通電不良	レコーダーに接続していない状態でACアダプター単体のランプが点灯しているか確認
モニタに映像が出ない	解像度があっていない	設定にてモニター解像度の変更が可能です。
録画できない	ハードディスクが認識していない	ハードディスクの交換修理が必要です。
モーション録画ができない	設定の一部が間違っている	設定の見直しと、手動録画の解除
	手動録画になっている	
日付と時刻の表示がない	時計、日付表示がOFFになっている	設定の見直しが必要です。
フリーズする	ハードディスクが認識していない	ハードディスクもしくは基盤の交換修理が必要です。
	基盤不良の可能性	
本体から異音がする	ファンもしくはハードディスクをの異音	ファンもしくはハードディスクの交換修理が必要です。

■電源が瞬断した場合

録画スピードや時刻が変化することがありますが、これは異常ではありません。
また、再生は停止しますが録画は電源が復帰するとふたたび録画状態になります。

■システムダウン

もし、まったく動作しなくなったときは、次の手順で確認してください。
① 電源を入切してください。
② ①を繰り返しおこなっても動作しないときは、お買い上げ販売店に修理をご依頼ください。

アフターサービスについて

この商品は「保証書」を別途添付しております。
所定事項の記入および記載内容をご確認いただき、大切に保管してください。

正常な使用状態で、保証期間内に万一故障が生じた場合には、保証書記載内容により、お買い上げの販売店（または工事店）が修理いたします。その他の詳細は保証書をご覧ください。

●保証期間経過後の修理については、お買い上げの販売店にご相談ください。修理によって機能が維持できる場合は、お客さまのご要望により有料修理いたします。

●本機（ハードディスクデジタルレコーダー）が故障した場合、稼働していない時間に対する営業損失は補償対象外になります。

■定期点検・保守について

特に監視用などでご使用の場合は、定期点検・保守の実施をおすすめします。詳しくは、お買い上げ販売店（または工事店）にご相談ください。

修理を依頼されるときは

下記の事項をお買い上げ販売店にご連絡ください。

① 故障の状況（できるだけくわしく）
② 品名と品番
（AHD4chDVR　RD-RA2204 など）
③ お買い上げ年月日（保証書に記入）
④ 製造番号（保証書に記入）
⑤ お名前、おところ、電話番号

製品についてのお問い合わせ

ネット業界初！サポート専用ダイヤル
☎092-707-2002
受付時間 (平日) 9:15 ～ 17:00 (土・日・祝) 休